

令和8年度養老線地域公共交通再生協議会第1回会議次第

と き 令和8年5月18日（月）13:00～15:00

ところ クインテッサホテル 大垣

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

議第1号 令和7年度養老線地域公共交通再生協議会事業報告（案）について

資料No.1

議第2号 令和7年度養老線地域公共交通再生協議会収支決算（案）について

資料No.2

議第3号 令和8年度養老線地域公共交通再生協議会役員改選（案）について

資料No.3

議第4号 養老線交通圏地域公共交通計画（素案）について

資料No.4-1

養老線交通圏地域公共交通計画素案

資料No.4-2

4 そ の 他

(1) 養老線交通圏地域公共交通再生協議会 委員等名簿の変更（案）について

資料No.5

(2) 今後の日程について

資料No.6

5 閉 会

令和7年度養老線地域公共交通再生協議会事業報告（案）について

1 目 的

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会として、養老線が地域住民に必要不可欠な公共交通機関として安定した運営ができるよう、関係者が連携して必要な事業を実施します。

2 事業内容

(1) 協議会の運営

- ① 協 議 会 4回開催 ※書面決議 1回
- ② 幹 事 会 3回開催
- ③ 部 会 等 ・ 共創事業推進部会 6回開催（協議会構成員、高校生等 各3回）
 ・ 交通事業者部会 2回開催

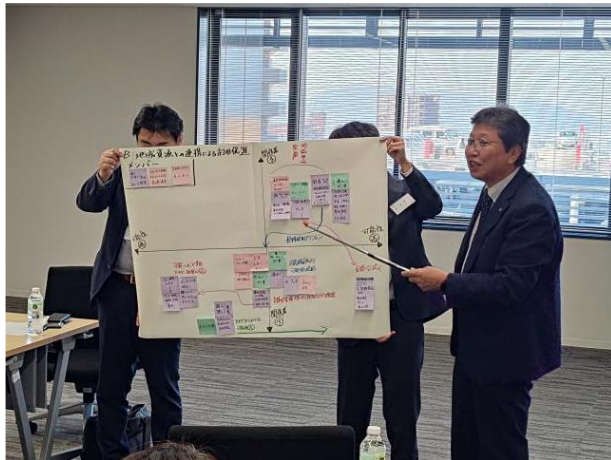
日付	会議名	主な事項
令和7年 6月17日	第1回幹事会	・ 令和6年度養老線地域公共交通再生協議会事業報告（案）について ・ 令和6年度養老線地域公共交通再生協議会収支決算（案）について ・ 養老線交通圏地域公共交通網形成計画について ・ 養老線地域公共交通再生協議会各部会の設置（案）について ・ 養老線交通圏地域公共交通計画策定スケジュール（案）について
7月14日	本体会議 第1回協議会	・ 令和6年度養老線地域公共交通再生協議会事業報告について ・ 令和6年度養老線地域公共交通再生協議会収支決算について ・ 養老線交通圏地域公共交通網形成計画について ・ 養老線地域公共交通再生協議会各部会の設置（案）について ・ 養老線交通圏地域公共交通計画策定スケジュールについて

日付	会議名	主な事項
10月9日	共創推進部会 第1回WS (構成員)	・ カテゴリーに関連するアイデアについて意見出し ・ 出した意見について、「養老線のどんな弱み・課題」に効くのか議論 ・ テーブルごとで発表
10月30日	共創推進部会 第2回WS (構成員)	・ 第1回のおさらい ・ 第1回の取組アイデアを基に「誰と連携する取組か」について議論 ・ 取組アイデアの実現可能性を議論 ・ テーブルごとで発表
11月3日	共創推進部会 第1回WS (高・大学生)	・ 養老線の「よい点」、「改善点」について意見出し ・ テーブル内での意見集約とアイデアのキッカケづくり ・ 班ごとで発表
11月30日	共創推進部会 第2回WS (高・大学生)	・ 基調講演 ヴァンソン藤井 由実 氏 ・ 養老鉄道にあったらいいと思うものは？ ・ 班ごとで発表
12月3日	共創推進部会 第3回WS (構成員)	・ 第1、2回のおさらい ・ 「事業タイトル」、「どんなことを」、「誰が」、「どうやって」をまとめる ・ その結果どうなるか、養老線の現状・課題に効くかまで議論 ・ テーブルごとで発表
12月17日	第2回幹事会	・ 養老線交通圏の地域及び公共交通の現状について ・ 養老線沿線の公共交通に関するニーズ等について ・ 共創事業推進部会（関係者・高校生等）からの提言 ・ 養老線と地域公共交通の課題確認 ・ 養老線沿線地域公共交通の将来像と基本方針（案）について ・ 養老線交通圏地域公共交通計画策定のスケジュールについて

日付	会議名	主な事項
12月20日	共創推進部会 第3回WS (高・大学生)	・ 前回までのWSのおさらい、アイデアの選定、具体化 ・ 班ごとに発表（発表後コメント） ・ コメントを受けてアイデアのブラッシュアップ
12月22日	本体会議 第2回協議会	・ 養老線交通圏の地域及び公共交通の現状について ・ 養老線沿線の公共交通に関するニーズ等について ・ 共創事業推進部会（関係者・高校生等）からの提言 ・ 養老線と地域公共交通の課題確認 ・ 養老線沿線地域公共交通の将来像と基本方針（案）について ・ 養老線交通圏地域公共交通計画策定のスケジュールについて
令和8年 1月6日	本体会議 第3回協議会 【書面開催】	・ 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について
1月26日	交通事業者部会 第1回会議	・ 交通事業者部会の進め方について ・ 交通事業者部会 座長の選出について ・ 養老線交通圏の公共交通の現状から見た主な課題（アンケート、ワークショップ等）
2月17日	第3回幹事会	・ 養老線交通圏地域公共交通計画策定業務委託報告（案） ・ 令和8年度養老線地域公共交通再生協議会事業計画（案） ・ 令和8年度養老線地域公共交通再生協議会予算（案） ・ 養老線交通圏地域公共交通計画骨子（案）について
2月26日	本体会議 第4回協議会	・ 令和8年度養老線地域公共交通再生協議会事業計画（案） ・ 令和8年度養老線地域公共交通再生協議会予算（案） ・ 養老線交通圏地域公共交通計画策定業務委託報告（案） ・ 養老線交通圏地域公共交通計画骨子（案）について
3月17日	交通事業者部会 第2回会議	・ 施策提案のとりまとめ・報告 ・ 施策の実現性検討 ・ 重点施策整理

【共創事業推進部会】

発表の様子



グループディスカッション



【高校生・大学生ワークショップ】

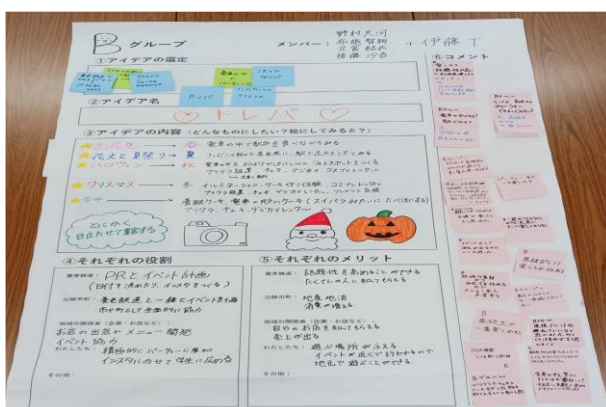
グループディスカッション



発表の様子



アイデアのまとめ



集合写真



(2) 主な事業内容

① 地域公共交通計画の変更及び評価に関する協議

- 1) 計画の目標を達成するための施策・事業の実施
- 2) 計画の目標の達成状況の評価
- 3) 計画の改善点等の検討、施策・事業の見直し
- 4) 計画改訂のための調査・研究の実施

② 次期地域公共交通計画の策定に関する協議

- 1) 基礎調査データに基づく、養老線交通圏の課題整理
- 2) 養老線沿線住民及び利用者のニーズ調査に基づく利用促進施策検討
- 3) 養老線利用実態調査に基づく、養老線駅へのアクセス向上施策検討
- 4) 計画目標及びKPIの検討
- 5) あらゆる関係者による「共創」による計画策定に向けての協議
- 6) その他次期公共交通計画策定に必要な協議

③ 地域公共交通計画に係る連絡調整

- 1) 国及び関係機関等への要望活動（中部運輸局・国土交通省・財務省）
- 2) 交通事業者との連絡調査
- 3) その他の関係機関、関係団体等との連絡調整

8月19日 中部運輸局 中村局長	8月28日 国土交通省 岡野総括審議官
	
11月14日 国土交通省 五十嵐鉄道局長	11月14日 財務省 片山財務大臣
	

令和7年度（実績）各種イベント等での養老線PR等(参考)

1 各種イベント等

とき	ところ	事業名	備考
4月19日（土）～ 20日（日）	木曽三川公園 アクアワールド水 郷パークセンタ	海津市アクアマルシェ	海津アクアマル シェ実行委員会
4月26日（土）～ 27日（日）	養老公園 こどもの国	全国都市緑化ぎふフェア 西美濃「再」発見フェア	養老鉄道(株) フェア実行委員会
4月29日（祝）	西大垣駅構内	養老鉄道まつり2025	養老鉄道(株) 再生協議会
5月 3日（祝）	伊賀鉄道・上野市 車庫	伊賀線まつり	養老鉄道(株)
5月 5日（祝）	文化公園（スイト ピアセンター内）	スイトピアテラス	大垣市文化事業 団
5月11日（日）	ばら公園いこいの 広場	春のばらウィークイベント	神戸町
5月18日（日）	広神戸駅前	駅前ローズストリートイベント	神戸町・ごうど町 賑わいのあるま ちづくり協議会
5月24日（土）	八日市ほんまち 商店街	ガチャコン祭り2025in東近江市	養老鉄道(株) 近江鉄道
5月24日（土）	山総合駅	西美濃・北伊勢観光サミット 観光物産展	沿線観光協会 再生協議会
6月 1日日（日）	大垣駅通り周辺	まちなかスクエアガーデン	大垣市商店街 振興組合連合会
7月 1日（土）	文化公園（スイト ピアセンター内）	スイトピアテラちゅ	大垣市文化事業 団
7月19日（土）～ 20日（日）	イオンモール大垣	イオンモール大垣 「鉄道&バスフェア2025」	養老鉄道(株) 再生協議会ほか
7月26日（土）～ 27日（日）	イオンモール桑名	養鉄フェア2025	養老鉄道(株)
8月 2日（土）	揖斐川河畔	いびがわの祭り	いびがわの祭り 実行委員会

とき	ところ	事業名	備考
8月 3日 (日)	池野駅	ひまわりマルシェ	養老鉄道応援団 霞溪舎
8月 9日 (土) ～ 10日 (日)	奈良県コンベンシ ョンセンター	大和鉄道まつり2025	養老鉄道(株)
8月11日 (月)	アクアワールド水 郷パークセンター	海津夏祭り2025	海津夏祭り 実行 委員会
8月12日 (火)	イオンモール扶桑	イオンモール扶桑 岐阜県観光キャンペーン	養老鉄道(株) (株)日本旅行
9月17日 (日)	文化公園 (スイト ピアセンター内)	SUITOPIA TERRACE	大垣市文化事業 団
9月25日 (木) ～ 28日 (日)	東京ビッグサイト	ツーリズムEXPOジャパン	大垣観光協会 再生協議会
10月 5日 (日)	大垣駅通り周辺	まちなかスクエアガーデン (のりものフェア)	大垣市 養老線管理機構 再生協議会 等
10月 5日 (日)	揖斐駅駐車場内	養老鉄道inIBIマルシェ	IBIマルシェ実行 委員会 養老鉄道(株)
10月11日 (土)	栄オアシス21 銀河の広場	「鉄道の日」記念イベント	中部運輸局 養老鉄道
10月19日 (日)	広神戸駅前	広神戸駅前ホームガーデンイ ベント	神戸町・ごうど町 賑わいのあるま ちづくり協議会
10月11日 (土) ～ 12日 (日)	神戸町役場駐車場 周辺	神Fes!2025	神戸町 養老鉄道(株)
11月 1日 (土) ～ 2日 (日)	近 鉄 ・ 五 位 堂 検修車庫	きんてつ鉄道まつり 2025in 五位堂	養老鉄道(株)
11月 1日 (土)	JR蒲郡駅前	JRさわやかウォーキングマルシェ	養老鉄道(株) JR東海
11月 2日 (祝)	大垣駅通り	オオガキストリートフェステ ィバル	大垣市商連 養老鉄道(株)
11月 3日 (祝)	北池野駅周辺・ 池田町役場	第48回みの池田ふるさとまつり	池田町

とき	ところ	事業名	備考
11月 8日（土）～ 9日（日）	海津市OCT文化センター	海津市産業感謝祭	海津市産業感謝祭実行委員会
11月 8日（土）	海津市OCT文化センター	西美濃・北伊勢観光サミット 特産品バザール	沿線観光協会 養老鉄道(株) 再生協議会
11月 8日（土）～ 9日（日）	養老公園内第2駐車場	まるごと肉まつり養老2025	養老町
11月 9日（日）	揖斐川町	いびがわマラソン	揖斐川町
11月15日（土）～ 16日（日）	大垣駅、大垣城ホール ほか	キッズワークフェス in おおがき 2025	大垣市 養老鉄道(株)
11月23日（祝）	伊豆箱根鉄道・本社	「いずはこね ふれあいフェスタ2025」	養老鉄道(株)
11月29日（土）～ 30日（日）	万博記念公園	万博鉄道まつり2025	養老鉄道(株)
11月30日（日）	ららぽーと名古屋みなとアクルス	貨物鉄道フェスティバルin ららぽーと名古屋みなとアクルス	JR貨物 養老鉄道(株)
12月14日（日）	大垣駅周辺	おおがきマラソン	大垣市
12月14日（日）	池野駅	カラフル文化展（国際交流会） ×イルミネーション点灯式	霞溪舎 養老鉄道応援団 池田町
2月 9日（月）～ 10日（火）	ティーズスクエア	ぎふ西美濃観光物産展in大阪	西美濃広域観光 推進協議会
3月 1日（日）	大垣駅通り周辺	まちなかスクエアガーデン	大垣市商店街 振興組合連合会
3月29日（日）	イオンタウン 四日市泊	四日市あすなろう鉄道感謝祭	養老鉄道(株)

2 イベント列車等

とき	ところ	事業名	備考
4月 6日（日）	西大垣駅～養老駅	ようろう号	養老鉄道㈱
7月・8月・9月	大垣駅～桑名駅	冷酒列車	養老鉄道㈱
8月30日（土）	大垣駅～駒野駅	クラフトビール列車	養老鉄道㈱
9月13日（土）	大垣駅～駒野駅	ビール列車	養老鉄道㈱
4月～6月 10月～3月	大垣駅～桑名駅	枰酒列車	養老鉄道㈱
12月21日（日） 25日（木）	大垣駅～養老駅 養老駅～揖斐駅 揖斐駅～大垣駅	シナモロール クリスマストレイン	養老鉄道㈱

3 ハイキング&ウォーキング

No.	開催日	市町名	コース名	距離
1	4月 6日（土）	海 津 市	アクアワールド水郷パークセンターと木曽三川公園チューリップまつり	11km
2	4月 5日（土）	大 垣 市	水都おおがき三酒蔵めぐり ～銘酒と湧水を求めて～	10km
3	4月 26日（土）	養 老 町	緑豊かな養老公園 散歩ハイキング	10km
4	5月 11日（日）	神 戸 町	GODOローズフェスタ2025	6km
5	6月 8日（日）	大 垣 市	大垣曾根城公園花しょうぶまつり	7km
6	9月 14日（土）	桑 名 市	多度・細川酒造の上げ馬ビールに舌鼓	6km
7	10月 5日（土）	海 津 市	津屋川の「彼岸花」ハイキング	6km
8	10月 26日（日）	養 老 町	秋麗の養老公園散策	10km
9	11月 2日（祝）	大 垣 市	中山道赤坂宿まつりと昼飯大塚古墳をたずねて	10km
10	11月 9日（土）	養 老 町	軽トラ養老SDGsハイキング	6km
11	11月 15日（土）	桑 名 市	紅葉の多度山・木曽三川展望	12km
12	1月 25日（日）	桑 名 市	酒蔵みてある記 細川酒造の銘酒「上げ馬」と多度大社・追儺祭（雪のため中止）	6km
13	2月 1日（日）	揖斐川町	酒蔵みてある記 所酒造「揖斐の蔵しぼりたて」	6km
14	3月 7日（土）	養 老 町	酒蔵みてある記 玉泉堂酒造「美濃菊」	8km
15	3月 14日（土）	池 田 町	酒蔵みてある記 大塚酒造「初霜」	4km

令和7年度養老線地域公共交通再生協議会収支決算（案）

1 歳入の部

（単位：円）

項目	予算額	決算額	予算対比	
負担金	3,500,000	3,500,000	0	500千円×7市町
補助金	3,000,000	2,384,481	▲615,519	R6事業補助金
繰越金	159,000	504,803	345,803	R6年度繰越金
雑入	1,000	8,976	7,976	預金利子
合計	6,660,000	6,398,260	▲261,740	

2 歳出の部

（単位：円）

項目	予算額	決算額	予算対比	摘 要
運営費	470,000	581,077	111,077	(1) 委員報酬 140,406 (2) 食糧費 26,052 (3) 使用料 413,064 (4) 保険料 1,555 ※費用弁償、消耗品費、委託料は 執行なし
事務費	90,000	11,000	▲79,000	(1) 役務費 11,000 ※旅費、消耗品費、使用料、参加 料、備品購入費、印刷製本費は 執行なし
事業費	6,100,000	5,804,112	▲295,888	(1) 委託料 5,166,612 ① 計画策定業務委託 4,994,000 ② クラウド運用業務委託 172,614 (2) 利用促進事業 623,750 ① HPレンタル費用 66,000 ② 各種イベント等 557,750 1) 養老鉄道まつり 500,000 2) 市町イベント等 57,750 (3) 情報発信 13,750
予備費	0	0	0	執行なし
合計	6,660,000	6,396,189	▲263,811	

歳入済額 6,398,260円

歳出済額 6,396,189円

次年度繰越金額 2,071円

養老線地域公共交通再生協議会会計監査報告書

養老線地域公共交通再生協議会における令和7年度に係る歳入歳出の予算執行状況及び関係書類の適否について監査の結果、いずれも正確に処理されていることを認めます。

令和8年4月9日

監 事

海津市長 横 川 真 澄

揖斐川町長 岡 部 栄 一

※署名の複製防止のため、原本は事務局で保管しております。

令和8年度養老線地域公共交通再生協議会役員の改選(案)について

役員名	令和6年度～令和7年度	
	役職等	氏名
会 長	大 垣 市 長	石 田 仁
副会長	桑 名 市 長	伊 藤 徳 宇
監 事	海 津 市 長	横 川 真 澄
監 事	揖斐川町長	岡 部 栄 一

⇒

役員名	令和8年度～令和9年度	
	役職等	氏名
会 長	大 垣 市 長	石 田 仁
副会長	桑 名 市 長	伊 藤 徳 宇
監 事	海 津 市 長	横 川 真 澄
監 事	池 田 町 長	竹 中 誉

＜役員の改選についての慣例＞

※大垣市長が会長、桑名市長が副会長の場合

- ・ 監事は、1人目が海津市長、2人目が4町の町長での持ち回り。
- ・ 監事の持ち回りは、北から南（揖斐川町→池田町→神戸町→養老町）の順とする。

＜養老線地域公共交通再生協議会規約（抜粋）＞

（組織）

第3条 協議会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

- 2 協議会は、前項に定めるもののほか、交通政策における法令等について専門的な知識を有する者等にオブザーバーとして参画を求めることができる。

（委員の任期）

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

- 2 設立当初の委員の任期は、前項の規定にかかわらず、設立の日から平成30年3月31日までとする。

（役員の定数及び選任）

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監 事 2名

2 役員は、協議会において選出する。

3 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。補欠役員の任期は前任者の残任期間とする。

4 設立当初の役員の任期は、前項の規定にかかわらず、設立の日から平成30年3月31日までとする。

養老線交通圏地域公共交通計画（素案）について

1 趣 旨

養老線沿線地域では、人口減少や少子高齢化の進展に伴い利用者の減少が見込まれることに加え、鉄道施設の老朽化、運行経費の増大に加え、全国的なバス・タクシー等の運転手不足など、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しています。

こうした中、沿線市町や交通事業者等のあらゆる関係者が協働し、養老線を軸とした持続可能な地域公共交通ネットワークを再構築するため、沿線住民や利用者等へのアンケート調査、沿線企業や大規模商業施設など地域の関係者及び高校生・大学生等とのワークショップを通じて多様なニーズや提言を収集し、検討を重ねてまいりました。

これらの検討結果を踏まえ、今後の養老線交通圏における公共交通の将来像や基本方針、目標を達成するための具体的な施策等を取りまとめた「養老線交通圏地域公共交通計画」の素案についてご協議いただくものです。

2 計画の位置付け

本計画は、地域交通法に基づく「地域公共交通計画（令和2年名称変更）」として、養老線地域公共交通再生協議会（会長：大垣市長）が主体となり策定するものです。

また、沿線自治体の総合計画、都市計画、立地適正化計画、観光計画等との整合を図ってまいります。

3 計画策定主体

大垣市、海津市、養老町、神戸町、揖斐川町、池田町、桑名市

4 養老線交通圏地域公共交通計画（素案）の概要

(1) 養老線沿線市町及び養老線交通圏地域公共交通の現状と課題

養老線沿線の7市町では、少子化や人口減少が急速に進んでおり、2025年度から2050年度にかけて人口が約21.8%（約8万8千人）減少すると推計されています。

一方で、高齢者の運転免許証自主返納件数が増加傾向にあるほか、沿線高等学校における養老線通学利用者割合も令和元年度以降増加傾向にあり、養老線を軸とした地域公共交通による移動手段の維持・確保が急務となっております。

養老線の利用状況に目を向けると、コロナ禍による落ち込みからは回復傾向にあり、一定の利用者が維持されています。しかし、朝夕の通勤・通学時間帯に混雑が集

中する一方で、日中や早朝・夜間時間帯の利用者が極端に少ないという実態があります。人口減少社会において養老線の持続可能性を高めるためには、特定の時間帯や学生の利用に依存するだけでなく、新たな利用者を確保していく必要があります。

(2) 養老線沿線の公共交通に関するニーズ・提言

養老線沿線の公共交通に関するニーズや提言、課題を把握するため、各種アンケートと共創事業推進部会（沿線関係者・高校生等）によるワークショップを実施しました。

アンケートでは沿線住民の9割以上が養老線を必要とする一方、養老線利便性向上のため運行本数の増加や無料駐車場、交通系ICの整備が強く求められています。また、企業からは通勤時の二次交通の不足等が指摘されました。

ワークショップでは、駅の複合施設化や学生主体の合同文化祭、季節のイベント列車など、共創による多様なアイデアが提案されました。

(3) 養老線交通圏の地域公共交通の課題の整理

- ① 養老線の利便性向上による利用促進
- ② まちづくりと一体となった、養老線駅及び駅周辺的环境整備
- ③ 養老線駅への二次交通の改善と交通結節点機能の充実
- ④ 養老線沿線資源を関係者と戦略的に活用し、新たな地域価値の共創

(4) 養老線交通圏の将来像・基本的な方針・目標

① 本計画の将来像

「人をむすび、まちをつなぎ、地域の未来を創る

養老線を軸とした、地域公共交通ネットワークの再構築」

② 将来像の実現に向けた基本方針

- 1) 養老線を安心して便利に利用できる地域公共交通の基幹軸へアップグレード
- 2) まちづくりと連動した養老線駅周辺的环境整備やにぎわい拠点づくりの推進
- 3) 養老線交通圏における移動(バス、タクシー、デマンド交通)の充実を図る
- 4) 沿線の観光資源や多様な関係者と連携・協働による、養老線の利用促進

(5) 目標を達成するために実施する施策及び事業

① 養老線を安心して便利に利用できる地域公共交通の基幹軸へアップグレード

目標1：養老線の利便性・持続性の向上（鉄道事業再構築事業の確実な実施）
・運行サービスの改善、高度化（通勤通学時間帯増便、ダイヤ改善、速達性向上 等）
・安全性、快適性の向上（新型車両による車両更新、鉄道施設の強靱化 等）
・DXの推進による利便性の向上（交通系ICカード等導入、MaaSの導入の検討 等）
・鉄道ネットワークの強化（JR線、近鉄線等と大垣駅、桑名駅での接続性向上 等）

② まちづくりと連携した養老線駅周辺の環境整備やにぎわい拠点づくりを推進

目標2：養老線駅やその周辺が、目的地になるようなまちづくりとの連携
・駅の機能改善、強化（バリアフリー化の推進、駅舎及び施設改善 等）
・新規利用者の確保に向けた新駅の設置（1～2箇所）
・駅周辺におけるにぎわいの創出（カフェ・コンビニ・自習室の設置、誘致 等）
・駅のわかりやすさ、親しみやすさ向上（副駅名の設定、駅周辺施設表示 等）

③ 養老線交通圏における移動の充実

目標3：養老線主要駅へのアクセス改善、駅から目的地への移動手段の確保
・バス路線等の再編（バスルートの見直し、企業や学校と連携したバス運行 等）
・デマンド型交通の充実（エリアの拡充、サービスの改善 等）
・新しい移動手段の導入（シェアサイクル・新モビリティ導入 等）
・交通結節点機能の強化（パーク＆ライド用駐車場整備、バス等乗り継ぎ拠点の整備 等）

④ 沿線の観光資源や多様な関係者との協働・共創による養老線の利用促進

目標4：沿線の観光資源や企業、学校等と連携した養老線利用促進の取り組み強化
・観光資源等との共創による養老線の活用（自然・歴史・食・アニメ等とコラボ 等）
・企業、学校等沿線関係者との連携（通勤通学利用促進、イベント・企画列車運行 等）
・養老線を支援する団体等との協働（駅サポーター制度、観光案内、駅前商店街協働 等）
・若年層のマイレール意識の醸成（高校生等WS、養老鉄道応援団、親子乗車券 等）

5 計画期間

令和9年度～令和18年度（10か年）

6 計画の評価・推進体制

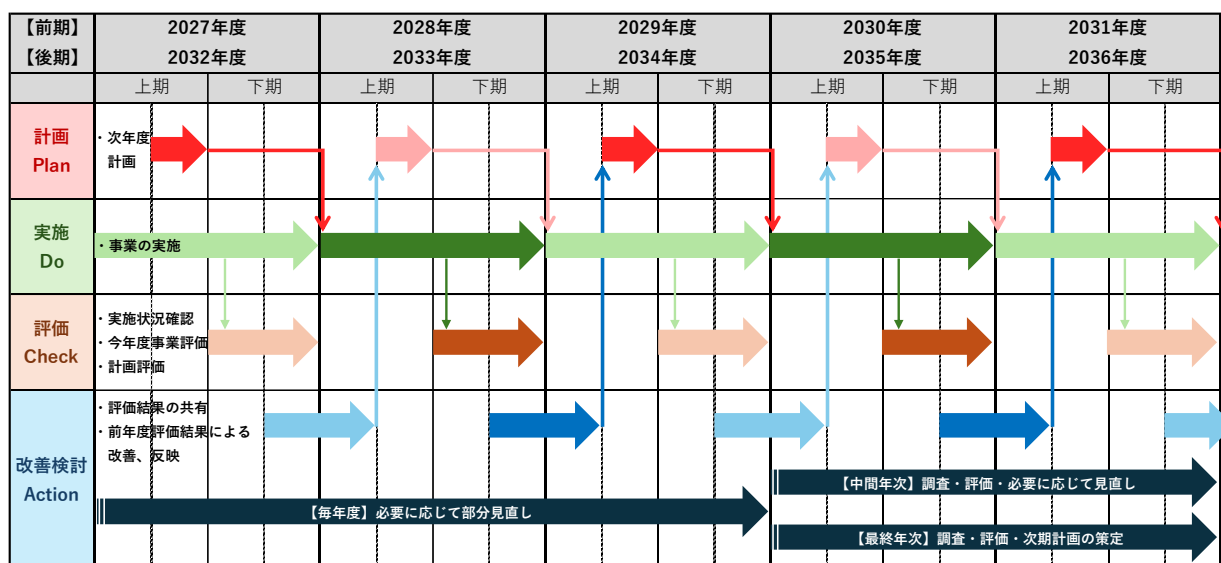
本計画で位置づけた施策・事業は、P D C Aサイクル（計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善検討（Action））を毎年度繰り返し実施し、より良い公共交通の実現につなげます。

実施した事業については、事業概要や実施効果を養老線地域公共交通再生協議会で報告し、計画目標の達成状況等について協議することで、改善につなげます。

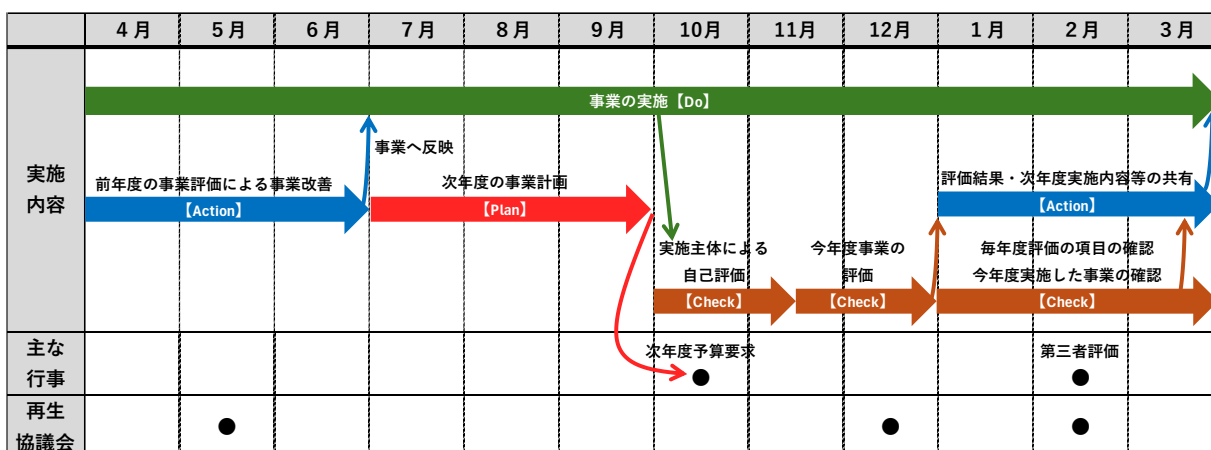
計画は必要に応じて適宜見直すことができるものとするとともに、中間年次には計画の中間評価のための調査等を実施し、変化する社会情勢や沿線環境、公共交通の利用状況等を考慮し、養老線地域公共交通再生協議会や共創事業推進部会、交通事業者部会等における議論・検討によって、実効的・効果的な計画へアップデートします。

また、最終年次では計画期間中に実施した各種施策の効果検証等のための調査等を実施し、養老線地域公共交通再生協議会や共創事業推進部会、交通事業者部会等における議論・検討において分析・評価を行い、次期計画の検討・策定するものとします。

▼ 計画期間全体の評価・進捗管理のスケジュール（P D C Aサイクル）



▼ 単年度の評価・進捗管理のスケジュール（P D C Aサイクル）



7 計画の達成度評価の指標（案）

(1) 計画全体の目標指標・目標値

目標指標	策定時現況値 (2024 年度)	➤	目標値 (2036 年度)	評価する 周期	データの 収集方法
【計画全体（将来像）】人をむすび、まちをつなぎ、地域の未来を創る 養老線を軸とした 地域公共交通ネットワークの再構築					
養老線の 利用者数	5,830 千人/年	➤	5,900 千人/年	毎年度	養老鉄道㈱の 運行実績による
養老線の 収支率 ※ ※(営業収入+特別利益)/営業費用	100%	➤	102% (特別損失を除く)	毎年度	養老鉄道㈱の 経営実績による

(2) 方針ごとの目標指標・目標値

目標指標	策定時現況値 (2024 年度)	➤	目標値 (2036 年度)	評価する 周期	データの 収集方法
【方針Ⅰ】養老線を安心して便利に利用できる地域公共交通の基幹軸へアップグレードします					
養老線沿線住民の 養老線利用割合	56%	➤	60%	中間評価時 最終評価時	住民アンケート 調査による
交通系 IC カード等の 利用割合(策定時未導入)			75%	毎年度	養老鉄道㈱の 運行実績による
【方針Ⅱ】まちづくりと連携した養老線駅周辺の環境整備やにぎわい拠点づくりを推進します					
養老線主要 10 駅の 利用者数	19,157 人/日	➤	20,000 人/日	毎年度	養老鉄道列車別 乗降調査による
駅周辺のにぎわい 創出事業の実施件数			7 件/年	毎年度	各市町の 事業実績による
【方針Ⅲ】養老線交通圏における移動の充実を図ります					
養老線駅と接続する バス等の利用者数	7,408 千人/年	➤	7,500 千人/年	毎年度	各事業者の 運行実績による
パーク＆ライド駐車場の 整備台数	656 台	➤	750 台	毎年度	各市町の 事業実績による
【方針Ⅳ】沿線の観光資源や多様な関係者との協働・共創により、養老線の利用を促進します					
養老線の定期外利用者数	1,300 千人/年	➤	1,500 千人/年	毎年度	養老鉄道㈱の 運行実績による
沿線関係者と連携した イベント・事業の件数	7 件/年	➤	14 件/年	毎年度	各市町の 事業実績による

8 今後の日程

令和8年5月：養老線地域公共交通再生協議会本体会議にて計画素案の承認

7月：パブリックコメントの実施

8月：養老線地域公共交通再生協議会本体会議にて計画案の承認

10月：計画の公表

養老線交通圏地域公共交通計画（素案）

令和 8年 月

大垣市・海津市・養老町・神戸町・揖斐川町・池田町・桑名市

目 次

1	はじめに	1
	(1) 計画策定の背景と目的	1
	(2) 計画の区域と期間	2
2	養老線沿線市町及び養老線交通圏の現状	3
	(1) 養老線沿線市町の地域概況	3
	(2) 養老線交通圏の公共交通の現状	10
	(3) 関連計画・社会環境の整理	19
3	養老線沿線の公共交通に関するニーズ・提言	22
	(1) アンケート・ヒアリング調査	22
	(2) ワークショップ	31
4	養老線交通圏の地域公共交通の課題	37
5	養老線交通圏の将来像・基本的な方針・目標	40
6	目標を達成するために実施する施策及び事業	42
7	計画の評価・推進体制に関する事項	58
	(1) 計画の評価・推進体制	58
	(2) 計画の達成度評価の指標	59

1 はじめに

(1) 計画策定の背景と目的

① 計画策定の背景

養老線は、年間約 600 万人が利用する重要な生活路線であり、通勤、通学、買い物、通院など、沿線住民にとって必要不可欠な日常移動の手段として地域を支えてきました。また、沿線地域の歴史や文化、観光資源をつなぐ交通の要衝としても親しまれています。

しかしながら、沿線 7 市町（大垣市、桑名市、海津市、養老町、神戸町、揖斐川町、池田町）の人口は減少傾向にあり、今後 2025 年度から 2050 年度にかけて約 21.8% の大幅な人口減少が見込まれています。これに伴う少子高齢化の進展や、生活様式の変化により、公共交通の利用者は減少傾向にあり、長期的にはさらに厳しい経営環境におかれることが想定されます。

また、運行開始から長期間が経過し、旧・近鉄車両をはじめとする鉄道施設の老朽化が著しく進んでおり、安全・安定的な運行の継続に向けた設備投資が喫緊の課題となっています。さらに、養老線の各駅に接続する路線バスやデマンド型交通等の二次交通も、全国的な運転手不足の影響を受け、減便や廃止が懸念されるなど、地域公共交通を取り巻く環境は大変深刻な状況にあります。

② 計画策定の目的

このような背景を踏まえ、沿線地域の持続的な発展に向けて、利用者や沿線住民、行政、交通事業者、そして多様な関係団体が協働し、まちづくりと一体となって地域公共交通の維持・確保・改善に取り組む必要があります。

そのため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、沿線 7 市町をはじめとする関係者で構成される「養老線地域公共交通再生協議会」において協議を行い、今後の養老線を軸とした持続可能な地域公共交通ネットワークを再構築するためのマスタープランとして、本計画を策定するものです。

③ 計画の位置付け

本計画は、養老線を中心とした地域公共交通政策のマスタープランとして位置づけられます。計画の推進にあたっては、沿線市町の上位計画（総合計画や都市計画マスタープラン、立地適正化計画等）で掲げられるまちづくりの方向性と連携し、公共交通ネットワークの再構築を図ります。また、沿線市町が個別に策定する地域公共交通計画とも相互に整合・連携を図り、県を跨ぐ広域的な交通網の維持・活性化を目指します。さらに、本計画に基づき策定する「次期鉄道事業再構築実施計画」において取り組む、養老線の利便性や持続性を高める施策や事業についても、計画内に位置付けてまいります。

(2) 計画の区域と期間

① 計画の区域

本計画の対象区域は、養老線を主軸に路線バス、デマンド型交通、タクシー等の二次交通が運行される沿線7市町（岐阜県大垣市、海津市、養老町、神戸町、揖斐川町、池田町及び三重県桑名市）の全域とします。

② 計画の期間

本計画の対象期間は、国からの支援の前提となる「次期鉄道事業再構築実施計画」の期間と連動させ、令和9年度（2027年度）から令和18年度（2036年度）までの10年間とします。

（※社会情勢の変化や利用ニーズの動向を踏まえ、PDCAサイクルに基づき必要に応じて中間年次等での評価・計画の見直しを行います）

2 養老線沿線市町及び養老線交通圏の現状

(1) 養老線沿線市町の地域概況

① 人口の推移と将来見通し

沿線7市町の人口は、平成17年(2005年)度をピークに減少傾向にあり、平成7年(1995年)度から令和2年(2020年)度の25年間で約2万人、4.8%の減少となっていますが、2025年度から2050年度の人口推計では約8万8千人、21.8%の大幅な人口減少が見込まれています。

また、年齢階層別人口で見ると、年少人口、生産年齢人口の総数は平成7年(1995年)をピークに減少に転じています。

▼ 沿線市町の人口の推移：実績

(単位：人)

年度	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和6年 (2024年)
桑名市	129,595	134,856	138,963	140,290	140,303	138,613	137,481
海津市	41,694	41,204	39,453	37,941	35,206	32,753	31,255
養老町	33,694	33,256	32,550	31,332	29,029	26,882	25,785
大垣市	161,679	161,827	162,070	161,160	159,879	158,286	156,488
神戸町	20,687	20,750	20,830	20,065	19,282	18,585	18,098
池田町	23,153	23,820	24,559	24,980	24,347	23,360	22,369
揖斐川町	28,368	27,453	26,192	23,784	21,503	19,529	18,783
合計	438,870	443,166	444,617	439,552	427,859	418,008	410,259

▼ (参考) 沿線市町の人口の推移：推計値

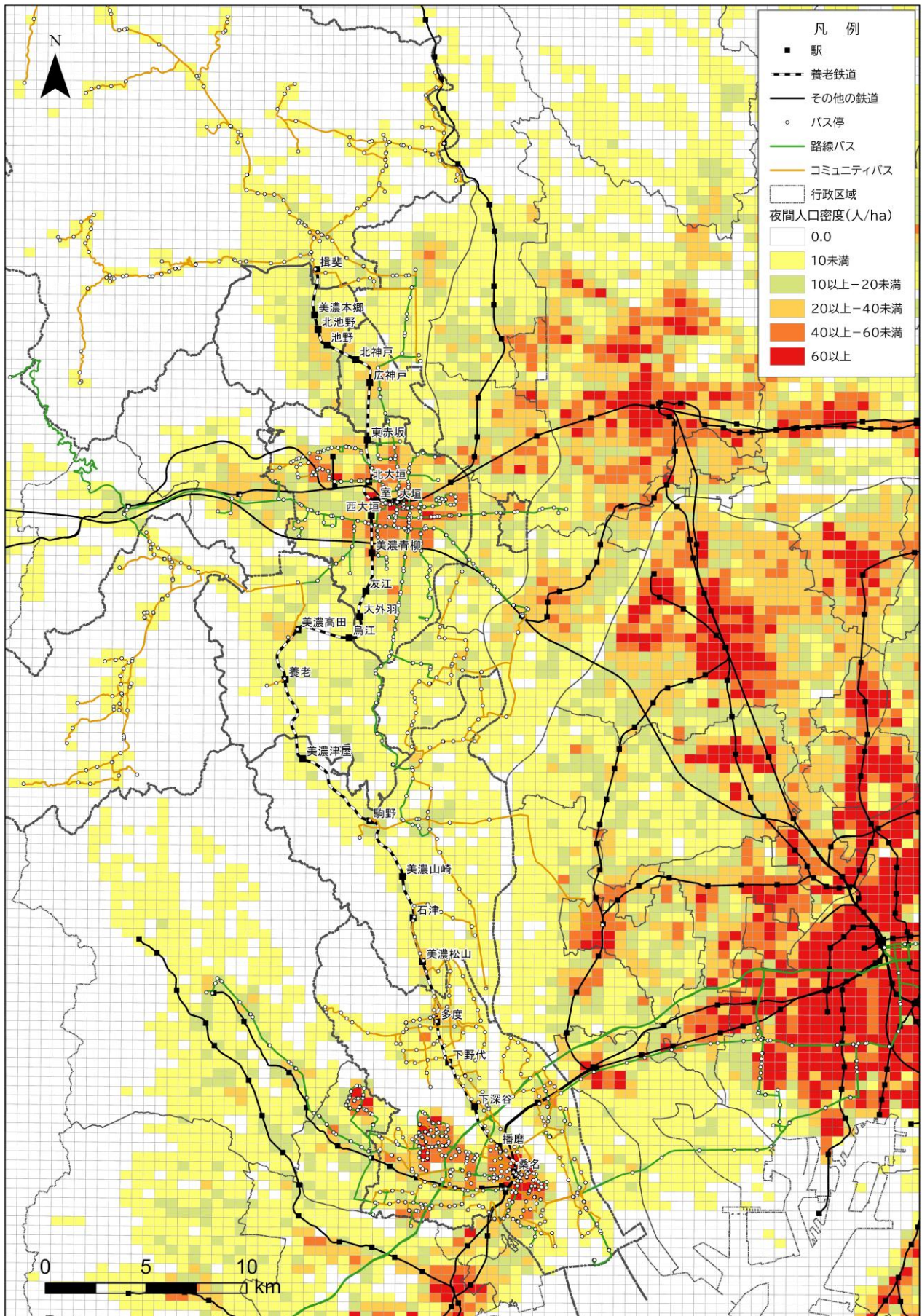
(単位：人)

年度	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2050年-2025年	
桑名市	136,146	132,741	128,988	124,878	120,499	115,878	-20,268	-14.9%
海津市	30,362	27,845	25,261	22,670	20,148	17,756	-12,606	-41.5%
養老町	24,810	22,712	20,561	18,431	16,366	14,417	-10,393	-41.9%
大垣市	154,850	150,579	145,911	140,908	135,667	130,141	-24,709	-16.0%
神戸町	17,597	16,473	15,295	14,129	13,016	11,943	-5,654	-32.1%
池田町	21,597	20,525	19,377	18,157	16,918	15,679	-5,918	-27.4%
揖斐川町	17,389	15,512	13,706	11,993	10,449	9,033	-8,356	-48.1%
合計	402,751	386,387	369,099	351,166	333,063	314,847	-87,904	-21.8%

※平成7年から令和2年までは国勢調査実測値、令和6年度は住民基本台帳人口、2025年～は推測値

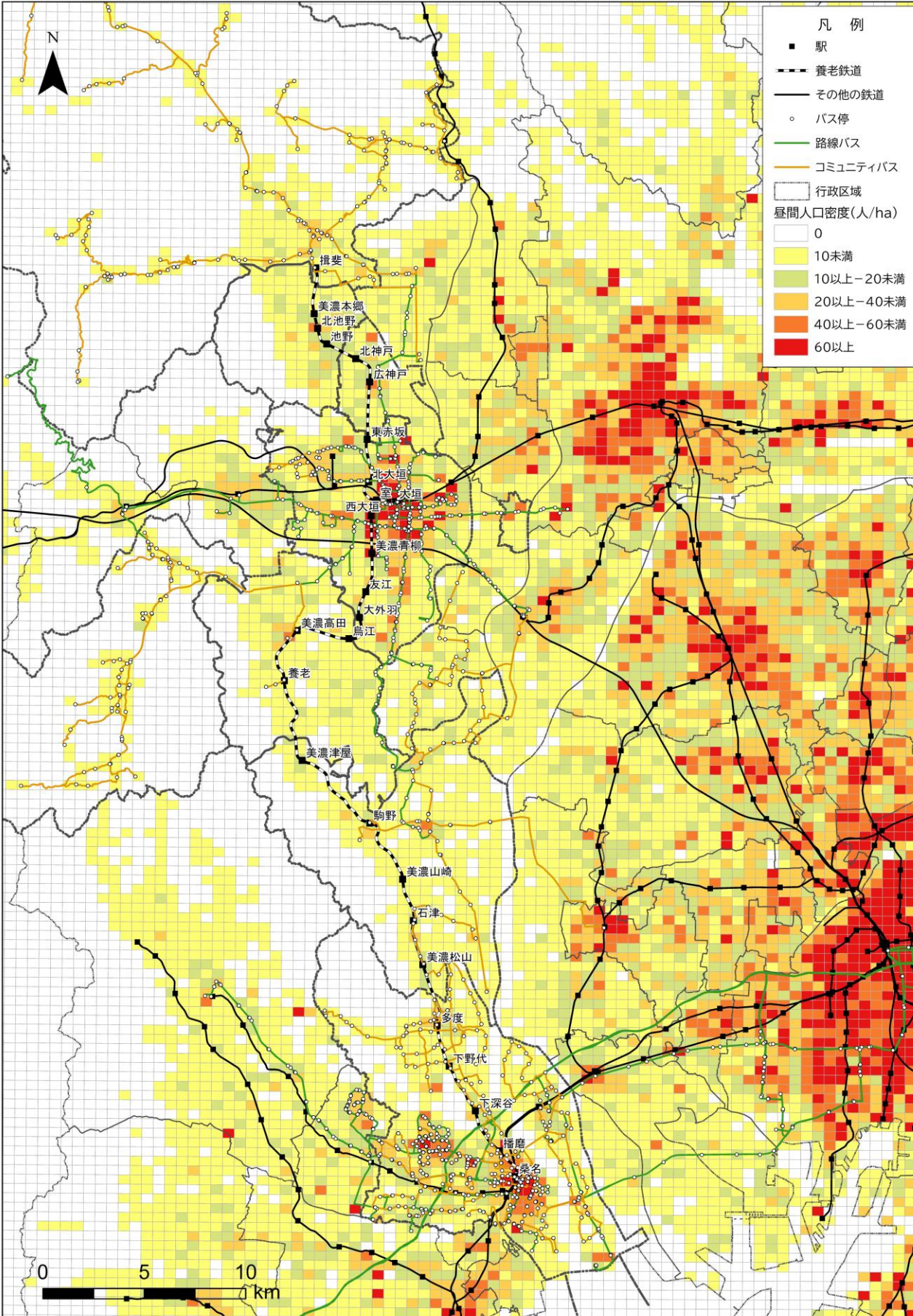
(資料：令和2年度国勢調査、人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』)

▼ 沿線市町の夜間人口（定住人口）の分布状況



(資料：令和2年度国勢調査(500m人口メッシュ))

▼



(資料：令和2年度国勢調査(500m人口メッシュ)、令和3年度経済センサス、令和3年度学校基本調査より推計したデータを使用)

沿線3市4町すべてにおいて人口減少が続いており、なかでも15歳未満人口の減少割合が特に高く、少子化が顕著になっております。

また、65歳以上人口（高齢者）は、ほぼ横ばいとなっている一方で、外国人人口は大きく増えています。

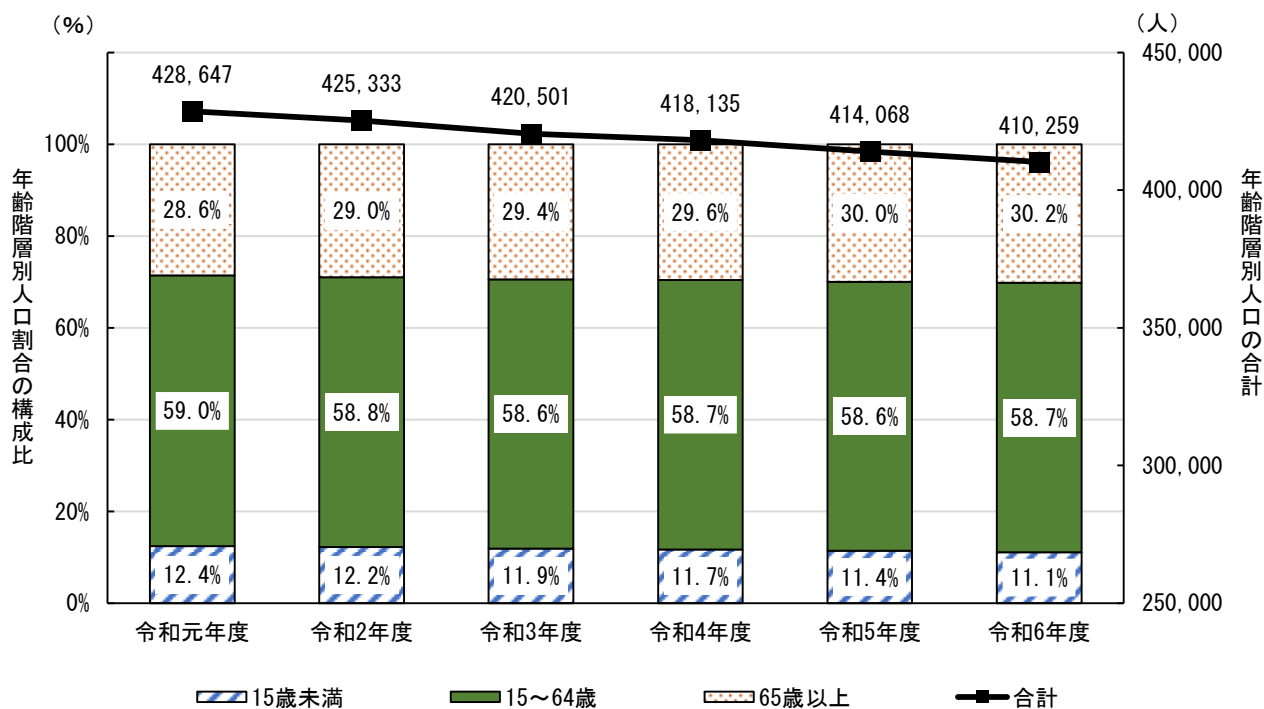
▼ 沿線市町の人口の推移：住民基本台帳人口

（単位：人）

年度末 市町	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和6年度 (内外国人) 前年度比	令和6年度 年齢階層別（構成比）
桑名市	141,701	141,045	139,712	139,666	138,679	137,481 (6,334) △0.9%	65歳以上 38,114 (27.5%) 15～64歳 83,252 (60.0%) 15歳未満 16,115 (11.6%)
海津市	33,966	33,375	32,758	32,386	31,815	31,255 (1,314) △1.8%	65歳以上 11,487 (36.1%) 15～64歳 17,137 (53.9%) 15歳未満 2,631 (8.3%)
養老町	28,368	27,823	27,143	26,689	26,244	25,785 (869) △1.7%	65歳以上 9,453 (36.0%) 15～64歳 14,158 (53.9%) 15歳未満 2,174 (8.3%)
大垣市	161,123	160,485	159,359	158,676	157,489	156,488 (6,417) △0.6%	65歳以上 44,195 (28.1%) 15～64歳 93,646 (59.5%) 15歳未満 18,647 (11.8%)
神戸町	19,040	18,826	18,623	18,505	18,290	18,098 (531) △1.0%	65歳以上 6,071 (33.2%) 15～64歳 10,151 (55.5%) 15歳未満 1,876 (10.3%)
池田町	23,734	23,506	23,140	23,870	22,659	22,369 (780) △1.3%	65歳以上 6,819 (30.1%) 15～64歳 13,143 (58.0%) 15歳未満 2,407 (10.6%)
揖斐川町	20,715	20,273	19,766	19,343	18,892	18,783 (340) △0.6%	65歳以上 7,929 (42.0%) 15～64歳 9,277 (49.1%) 15歳未満 1,577 (8.3%)
合計	428,647	425,333	420,501	418,135	414,068	410,259 △0.9%	65歳以上124,068 (30.2%) △ 0.0% 15～64歳240,764 (58.7%) △ 0.9% 15歳未満 45,427 (11.1%) △ 7.3%
内外国人	11,866	13,068	12,384	13,946	15,462	16,585	+7.3% (4.0%)

（資料：沿線市町データ（住民基本台帳人口、外国人を含む））

▼ 沿線市町の人口の推移（住民基本台帳人口）：年齢階層別人口構成比



(資料：沿線市町データ（住民基本台帳人口、外国人を含む）)

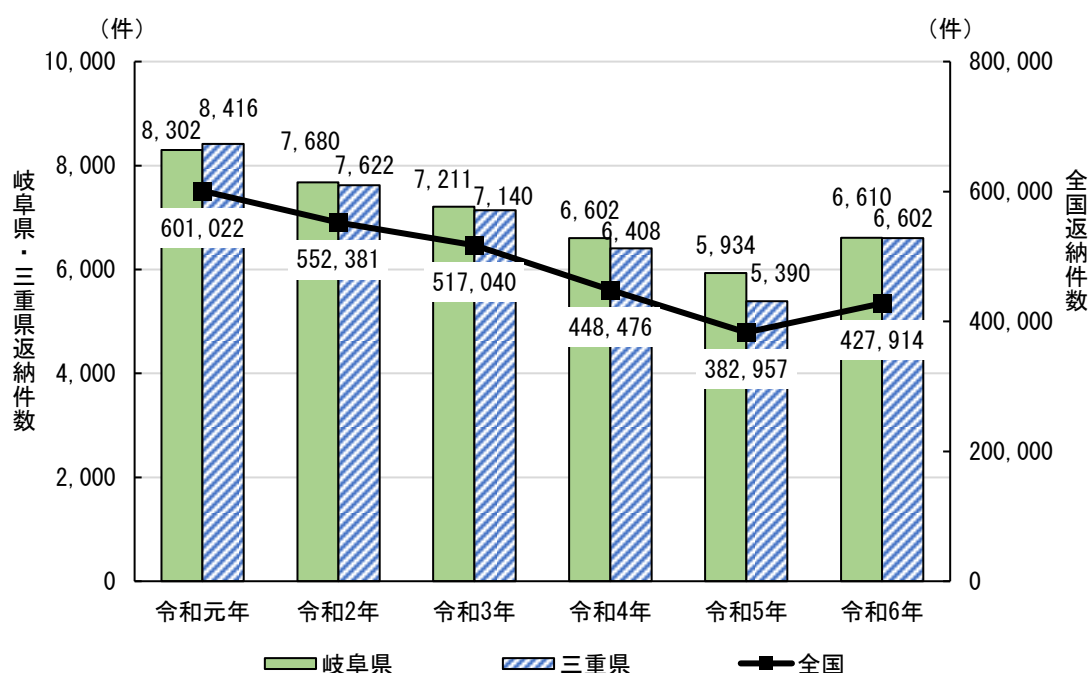
② 運転免許証自主返納件数

高齢者ドライバーの交通事故が社会問題として大きく取り上げられた令和元年では、年間 60 万件以上の自主返納件数となりましたが、それ以降は減少傾向にあります。

しかし、直近の令和 6 年では前年比 10%以上の増加となっており、この全国の傾向は岐阜県・三重県も同様のものとなっています。

▼ 運転免許証自主返納件数（申請による運転免許の取消件数、全年齢）（単位：件）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	前年比
全 国	601,022	552,381	517,040	448,476	382,957	427,914	11.7%
岐阜県	8,302	7,680	7,211	6,602	5,934	6,610	11.4%
三重県	8,416	7,622	7,140	6,408	5,390	6,602	22.5%



（資料：警察庁交通局運転免許課 運転免許統計）

③ 沿線高等学校等の生徒数と養老線利用者数の推移

少子化や定員減少の影響もあり、沿線高校の生徒数は減少傾向にあるにも関わらず、令和6年度の養老線利用者数の合計値が令和元年度以降最多となっています。

▼ 沿線高等学校等の生徒数、養老線の利用者数・割合（単位：人）

高校名	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
桑名	生徒数	1,068	1,065	1,098	1,024	1,024	1,078
	利用者数	32	28	38	50	50	53
	割合	3.0%	2.6%	3.5%	4.9%	4.9%	4.9%
桑名北	生徒数	659	582	580	578	578	505
	利用者数	309	332	285	356	356	323
	割合	46.9%	57.0%	49.1%	61.6%	61.6%	64.0%
海津明誠	生徒数	549	549	405	350	303	271
	利用者数	52	38	24	10	18	14
	割合	9.5%	6.9%	5.9%	2.9%	5.9%	5.2%
大垣養老	生徒数	701	702	673	676	683	690
	利用者数	218	236	240	233	244	263
	割合	31.1%	33.6%	35.7%	34.5%	35.7%	38.1%
大垣南	生徒数	718	721	719	719	707	711
	利用者数	310	350	327	340	348	380
	割合	43.2%	48.5%	45.5%	47.3%	49.2%	53.4%
大垣特別支援	生徒数	265	235	149	154	167	180
	利用者数	22	18	19	22	20	18
	割合	8.3%	7.7%	12.8%	14.3%	12.0%	10.0%
西濃高等特別支援	生徒数	48	69	70	65	65	66
	利用者数	35	53	51	44	44	50
	割合	72.9%	76.8%	72.9%	67.7%	67.7%	75.8%
大垣工業	生徒数	930	908	865	838	783	750
	利用者数	96	180	192	168	173	150
	割合	10.3%	19.8%	22.2%	20.0%	22.1%	20.0%
大垣西	生徒数	673	609	594	598	593	579
	利用者数	122	131	95	125	104	112
	割合	18.1%	21.5%	16.0%	20.9%	17.5%	19.3%
大垣東	生徒数	921	912	873	837	830	831
	利用者数	210	200	200	182	168	164
	割合	22.8%	21.9%	22.9%	21.7%	20.2%	19.7%
大垣商業	生徒数	758	808	712	713	715	752
	利用者数	153	131	127	131	138	164
	割合	20.2%	16.2%	17.8%	18.4%	19.3%	21.8%
大垣北	生徒数	962	959	966	958	962	957
	利用者数	141	134	140	156	155	122
	割合	14.7%	14.0%	14.5%	16.3%	16.1%	12.7%
大垣日大	生徒数	1,098	1,134	1,140	1,170	1,057	992
	利用者数	183	179	160	209	185	204
	割合	16.7%	15.8%	14.0%	17.9%	17.5%	20.6%
池田	生徒数	471	448	423	405	381	371
	利用者数	45	38	49	57	59	68
	割合	9.6%	8.5%	11.6%	14.1%	15.5%	18.3%
揖斐	生徒数	390	370	315	299	272	281
	利用者数	40	53	32	40	44	62
	割合	10.3%	14.3%	10.2%	13.4%	16.2%	22.1%
合計	生徒数	10,211	10,071	9,582	9,384	9,120	9,014
	利用者数	1,968	2,101	1,979	2,123	2,106	2,147
	割合	19.3%	20.9%	20.7%	22.6%	23.1%	23.8%

（資料：養老鉄道㈱から各高等学校等への照会による回答）

(2) 養老線交通圏の公共交通の現状

① 鉄道サービスの現状

養老線沿線で運行される旅客鉄道は、養老鉄道養老線、ＪＲ東海道本線、ＪＲ関西本線、近鉄名古屋線、三岐鉄道北勢線、樽見鉄道樽見線の６路線です。

これら鉄道路線の運行本数をみると、近鉄名古屋線の名古屋方面が 181 本と最も多く、次いで同線の四日市・津方面が 178 本、ＪＲ東海道本線の名古屋方面が 100 本となっており、名古屋方面を結ぶ路線において本数が多い状況となっています。

▼ 鉄道サービス水準（平日）

路線名			サービス水準		
			運行本数 (本/日)	養老線駅 発着時間帯	運賃体系
養老鉄道 養老線	桑名－大垣	大垣方面	41	5～23 時台	距離制
		桑名方面	36	5～23 時台	
	大垣－揖斐	揖斐方面	39	5～23 時台	
		大垣方面	39	5～23 時台	
J R	大垣→名古屋方面		100	5～23 時台	
東海道本線	大垣→美濃赤坂・関ヶ原方面		65	5～0 時台	
J R	桑名→名古屋方面		79	5～23 時台	
関西本線	桑名→亀山・津方面		70	5～0 時台	
近鉄	桑名→近鉄名古屋方面		181	5～23 時台	
名古屋線	桑名→四日市・津方面		178	5～0 時台	
三岐鉄道 北勢線（桑名 発）			45	5～23 時台	
樽見鉄道 樽見線（大垣 発）			20	6～23 時台	

（資料：養老鉄道㈱、東海旅客鉄道㈱、近畿日本鉄道㈱、三岐鉄道㈱、樽見鉄道㈱ 各 Web サイト(R7.12 現在)）

② 養老線の現状

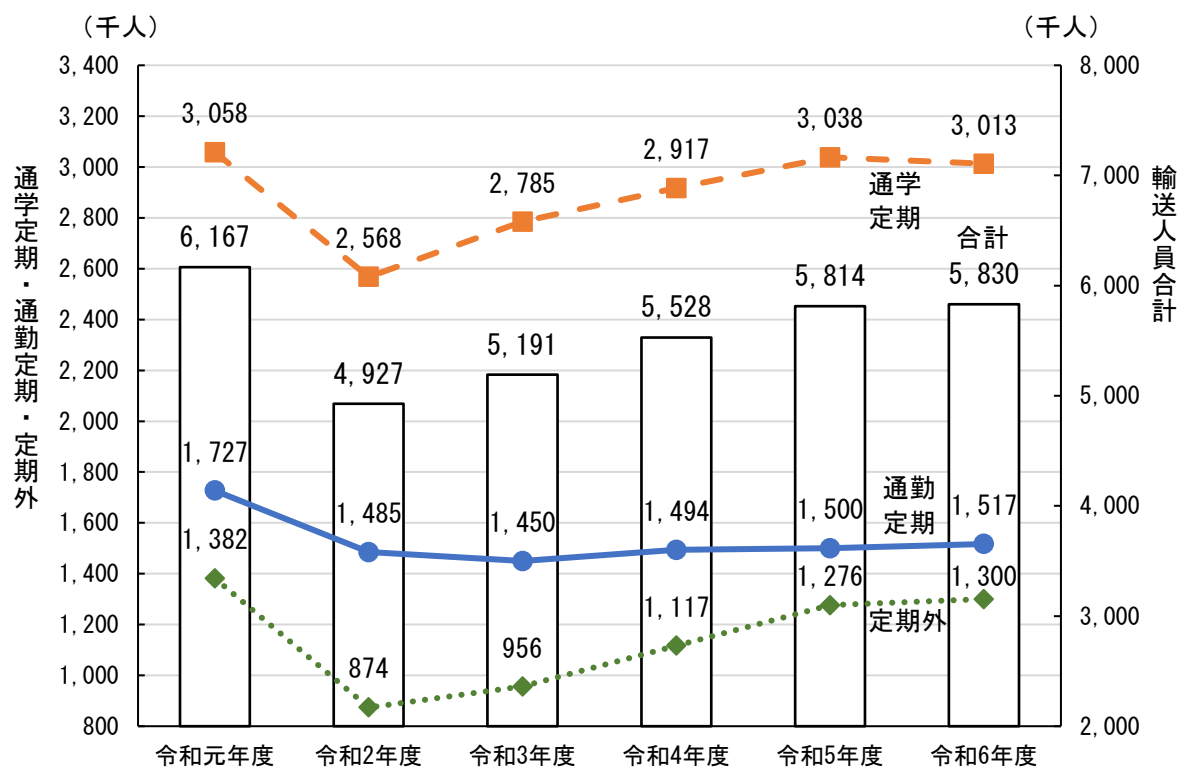
養老線は、桑名市の桑名駅から大垣市の大垣駅を経由し、揖斐川町の揖斐駅に至る 57.5km の延長を持つ路線です。沿線は2県7市町を運行し、駅数は27となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく減少した輸送人員については、全般的に回復傾向にあります。令和6年度については、ほぼ横ばい（0.3%増）となっています。

▼ 養老線の輸送人員の推移

(単位：千人)

利用区分	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	前年度比		構成比
定期利用	4,785	4,053	4,235	4,411	4,538	4,530	△8	0.0%	77.7%
通勤定期	1,727	1,485	1,450	1,494	1,500	1,517	17	1.1%	26.0%
通学定期	3,058	2,568	2,785	2,917	3,038	3,013	△25	△0.8%	51.7%
定期外利用	1,382	874	956	1,117	1,276	1,300	24	1.9%	22.3%
合 計	6,167	4,927	5,191	5,528	5,814	5,830	16	0.3%	100.0%



▼ 養老線の輸送密度の推移

(単位：人/日)

区間	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
養老線 (57.5 km)	3,047.8	2,456.1	2,579.5	2,714.7	2,851.4	2,857.8
桑名－大垣 (43.0km)	2,592.6	2,084.3	2,179.4	2,288.8	2,416.1	2,422.9
大垣－揖斐 (14.5 km)	4,397.8	3,558.6	3,766.2	3,977.6	4,142.4	4,147.4

(資料：養老鉄道㈱)

通勤・通学に係る朝夕（６～７時、１５～１７時）の列車での乗車・降車が車両の座席数を大きく上回るほどの混雑状況となっている一方、桑名駅－大垣駅間では、日中の乗車人数が、大垣駅－揖斐駅間では、早朝・夜間の乗車人数が少なくなっています。

▼ 養老線における最も乗車の多かった・少なかった列車(平日・全時間帯)

【大垣-桑名間】 (令和７年５月１４日(火)調査)

上位	【上り】	大垣	桑名	乗車人数	【下り】	桑名	大垣	乗車人数
	列番	出発時刻	到着時刻	延べ		列番	出発時刻	到着時刻
1	752	7:45	8:57	508	651	6:15	7:33	516
2	750	7:15	8:21	393	653	6:44	8:03	409
3	1552	15:46	16:58	379	751	7:13	8:31	276
4	650	6:15	7:26	329	1653	16:45	17:56	275
5	652	6:45	7:55	314	1651	16:05	17:14	241
下位	【上り】	大垣	桑名	乗車人数	【下り】	桑名	大垣	乗車人数
	列番	出発時刻	到着時刻	延べ		列番	出発時刻	到着時刻
1	1150	11:06	12:18	36	853	8:45	9:53	43
2	1152	11:46	12:58	40	951	9:25	10:34	46
3	1352	13:46	14:58	44	1151	11:25	12:33	49
4	1250	12:26	13:38	47	1051	10:05	11:13	51
5	1350	13:06	14:18	47	2251	22:07	23:14	52

【揖斐-大垣間】

上位	【上り】	揖斐	大垣	乗車人数 延べ
	列番	出発時刻	到着時刻	
1	760	7:14	7:41	526
2	664	6:54	7:21	398
3	762	7:34	8:01	304
4	662	6:34	7:01	239
5	660	6:14	6:41	161
下位	【上り】	揖斐	大垣	乗車人数 延べ
	列番	出発時刻	到着時刻	
1	2260	22:02	22:28	1
2	2262	22:22	22:47	1
3	2264	22:42	23:08	1
4	2360	23:31	23:56	1
5	2060	20:16	20:42	2

【下り】	大垣	揖斐	乗車人数 延べ
	列番	出発時刻	
1663	16:47	17:11	201
1865	18:47	19:11	191
1661	16:05	16:29	187
1861	18:07	18:31	176
1961	19:07	19:31	131
【下り】	大垣	揖斐	乗車人数 延べ
	列番	出発時刻	
561	5:44	6:10	1
661	6:06	6:30	6
663	6:26	6:50	12
665	6:46	7:10	12
2361	23:22	23:46	17

※大垣-西大垣間、夜間帯の列車一部除く

(資料：養老線列車別乗降調査)

③ 養老線沿線市町のバス交通の現状

養老線全 27 駅のうち、駅前や駅周辺でバス交通と接続している駅は 12 駅あり、民営路線バスや沿線市町のコミュニティバスなどが、養老線の二次交通としての役割を担っています。

また、路線バスのネットワークと合わせて、デマンド型交通を運行している市町もあり、多様なバスサービスが運行されています。

▼ 養老線駅と接続する（路線）バスのサービス水準（平日）①

駅名	事業者名	路線名	運行本数 (本/日) ※基準駅発 方面不問	運行時間帯	運賃
桑名	三重交通	栄桑名高速線	1	21 時台	距離制
		桑名中部国際空港線	(運休中)		
		桑名長島温泉線	45	6～21 時台	
		桑名なばなの里線	10	9～18 時台	320 円
		城南線	10	7～20 時台	距離制
		陽だまりの丘線	25	7～22 時台	
		桑名大山田団地線	32	6～20 時台	
		桑名ネオポリス線	40	6～22 時台	
		桑名阿下喜線	14	7～20 時台	
	八風バス	志知線	22	6～20 時台	100 円
	桑名市 K－バス	東部ルート	3	8～16 時台	
		北部ルート	7	8～18 時台	
		南部東ルート	4	9～18 時台	
		南部西ルート	4	8～16 時台	
播磨	桑名市 K－バス	北部ルート	7	9～18 時台	100 円
下野代	桑名市 K－バス	多度ルート	3	9～16 時台	
多度	桑名市 K－バス	多度ルート	14	8～19 時台	
美濃松山	海津市	石津線	8	7～18 時台	200 円 (市域を跨ぐ 利用の場合 300 円)
	コミュニティバス	木曽三川公園線	(土日祝のみ)		
石津	海津市	石津線	20	7～21 時台	
	コミュニティバス	木曽三川公園線	(土日祝のみ)		
駒野	海津市 コミュニティバス	駒野線	7	7～17 時台	
		木曽三川公園線	(土日祝のみ)		
		海津津島線	5	9～18 時台	
		お千代保稲荷線	2	8～17 時台	
養老	養老公園シャトルバス		(期間限定・土日祝のみ)		無料
美濃高田	大垣市 上石津地域 コミュニティバス	養老コース	4	9～13 時台	100 円

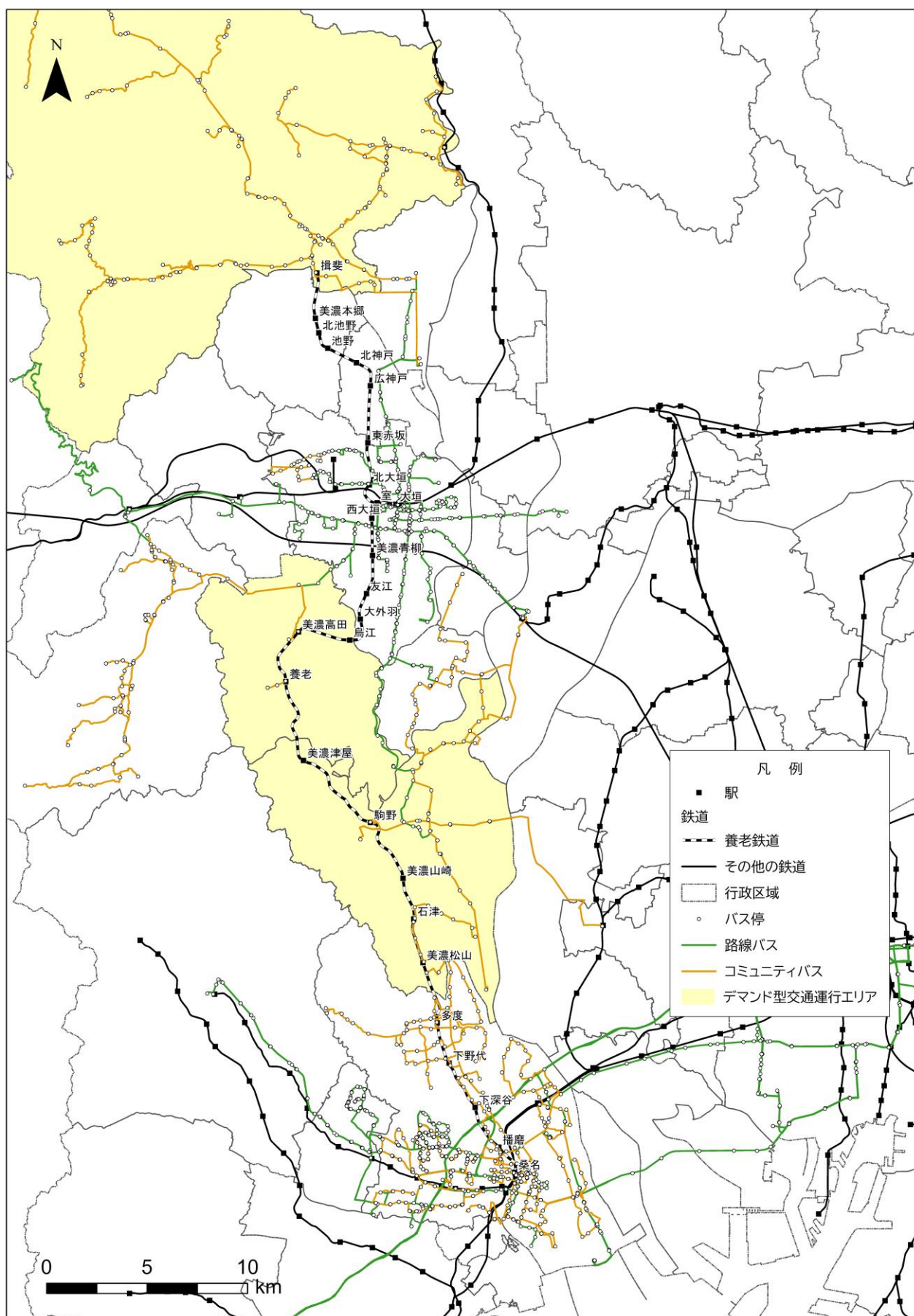
▼ 養老線駅と接続する（路線）バスのサービス水準（平日）②

駅名	事業者名	路線名	運行本数 (本/日) ※基準駅発 方面不問	運行時間帯	運賃
大垣	名阪近鉄バス	青柳線	26	7～21 時台	距離制
		赤坂線	31	7～21 時台	
		綾里養北線	18	7～21 時台	
		荒尾線	41	7～21 時台	
		荒崎線	10	8～21 時台	
		稲葉線	11	7～20 時台	
		大垣伊吹山線	(季節運行)		
		大垣大野線	21	7～20 時台	
		大垣競輪場線	(季節運行)		210 円
		大垣市民病院線	8	8～12 時台	
		大垣市役所線	14	8～19 時台	
		大垣野口線	(季節運行)		
		大垣宮代線			
		海津線	19	6～20 時台	距離制
		開発住宅線	15	7～18 時台	
		川並線	4	7～16 時台	
		岐垣線	49	6～22 時台	
		キャンパス線	22	8～19 時台	
		市民プール線	1	15 時台	
		ソフトピア線	21	6～13 時台	
		大商スクール線	1	8 時台	
		羽島線	25	6～20 時台	距離制
		若森車庫線	5	9～14 時台	
		輪之内線	17	6～21 時台	
北大垣	名阪近鉄バス	荒尾線	41	6～21 時台	
揖斐	揖斐川町 ふれあいバス	揖斐川北部線	4	12～18 時台	300 円
		春日線	5	7～18 時台	
		揖斐大野線	14	6～17 時台	
		横蔵線	2	8～17 時台	
		西濃厚生病院線	4	7～9 時台	

■沿線市町のデマンド交通

① 海津市デマンド交通	
運行日	月曜日～土曜日（12月29日～1月3日を除く）
運行時間帯	8時30分（乗車）～17時（降車）
運行地域	海津市内全域と市外7カ所（近隣の商業施設等）
運賃	小学生未満：無料、小・中学生：200円、大人（高校生以上）：400円 市内在住の65歳以上の人・各種障害者手帳提示者と介助者：200円
接続する 養老線駅	美濃松山、石津、美濃山崎、駒野、美濃津屋
② 養老町オンデマンドバス	
運行日	月曜日～土曜日（第1・3・5週の土曜日、12月29日～1月3日を除く）
運行時間帯	8時30分（乗車）～17時（降車）
運行地域	養老町内全域と町外7カ所（養老線駅、バス停等）
運賃	200円（パスポート：3,000円／月） （小学生以下、各種障害者手帳提示者と介助者、運転経歴証明書呈示者は半額）
接続する 養老線駅	駒野、美濃津屋、養老、美濃高田、烏江、友江
③ 揖斐川町はなももバス	
運行日	月曜日～金曜日（祝日を除く）
運行時間帯	7時30分（出発）～18時（到着）
運行地域	揖斐川町内
運賃	300円 （小学生以下、各種障害者手帳提示者、運転経歴証明書呈示者は半額） （乳幼児は無料）
接続する 養老線駅	揖斐

▼ 養老線沿線市町におけるバス路線網図



(資料：沿線各交通事業者 Web サイト、GTFIS データリポジトリ、沿線各市町)

路線バス並びにコミュニティバス・自主運行バスの利用者は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少していましたが、令和4年度以降は回復しつつあります。

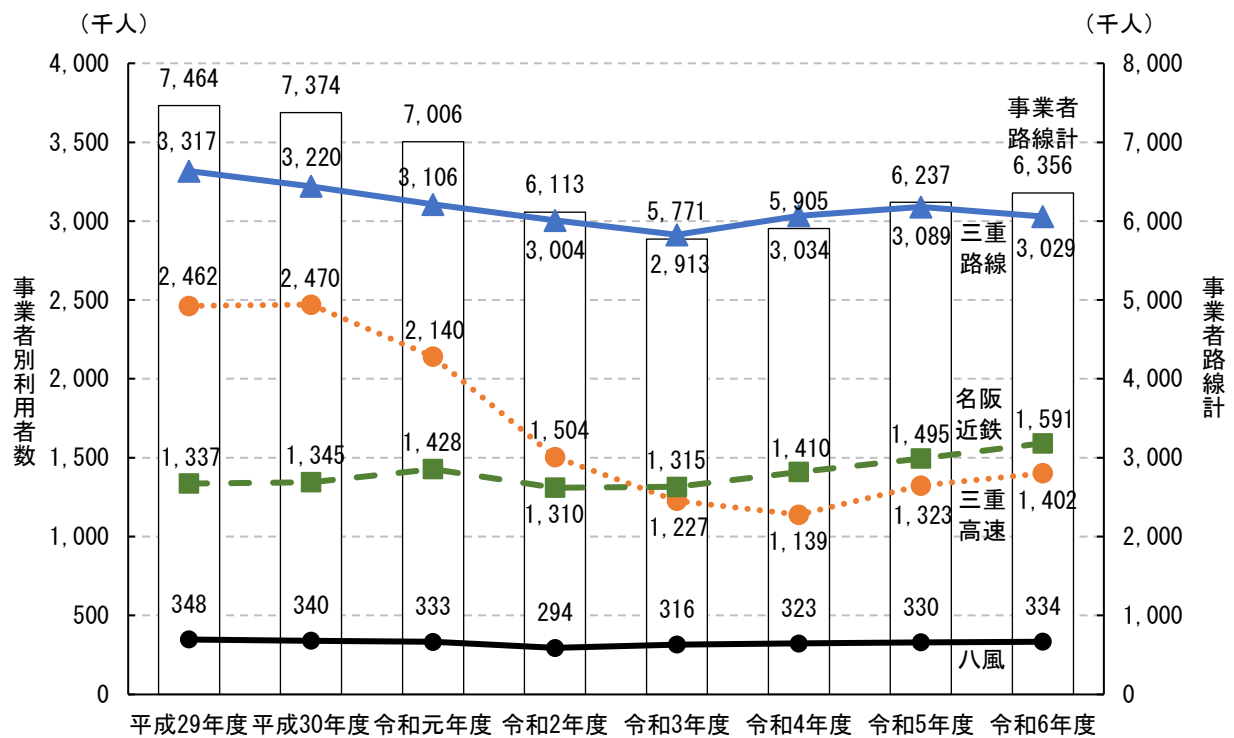
特に大垣市を中心に運行する路線バス及び自主運行バスについては、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける令和元年度の利用者数を越えています。

▼ 養老線沿線バスの事業者路線利用者数の推移

(単位：人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
桑名市等	5,578,447	4,802,900	4,456,258	4,495,672	4,741,366	4,764,775
三重交通・路線	3,105,684	3,004,432	2,912,807	3,034,089	3,089,036	3,028,846
三重交通・高速	2,139,882	1,504,188	1,227,203	1,138,565	1,322,635	1,401,857
八風バス	332,881	294,280	316,248	323,018	329,695	334,072
大垣市等 名阪近鉄バス	1,427,702	1,310,280	1,315,069	1,409,544	1,495,462	1,591,153
事業者路線計	7,006,149	6,113,180	5,771,327	5,905,216	6,236,828	6,355,928

注：年度はバス年度を使用（各年度10月1日～9月30日）

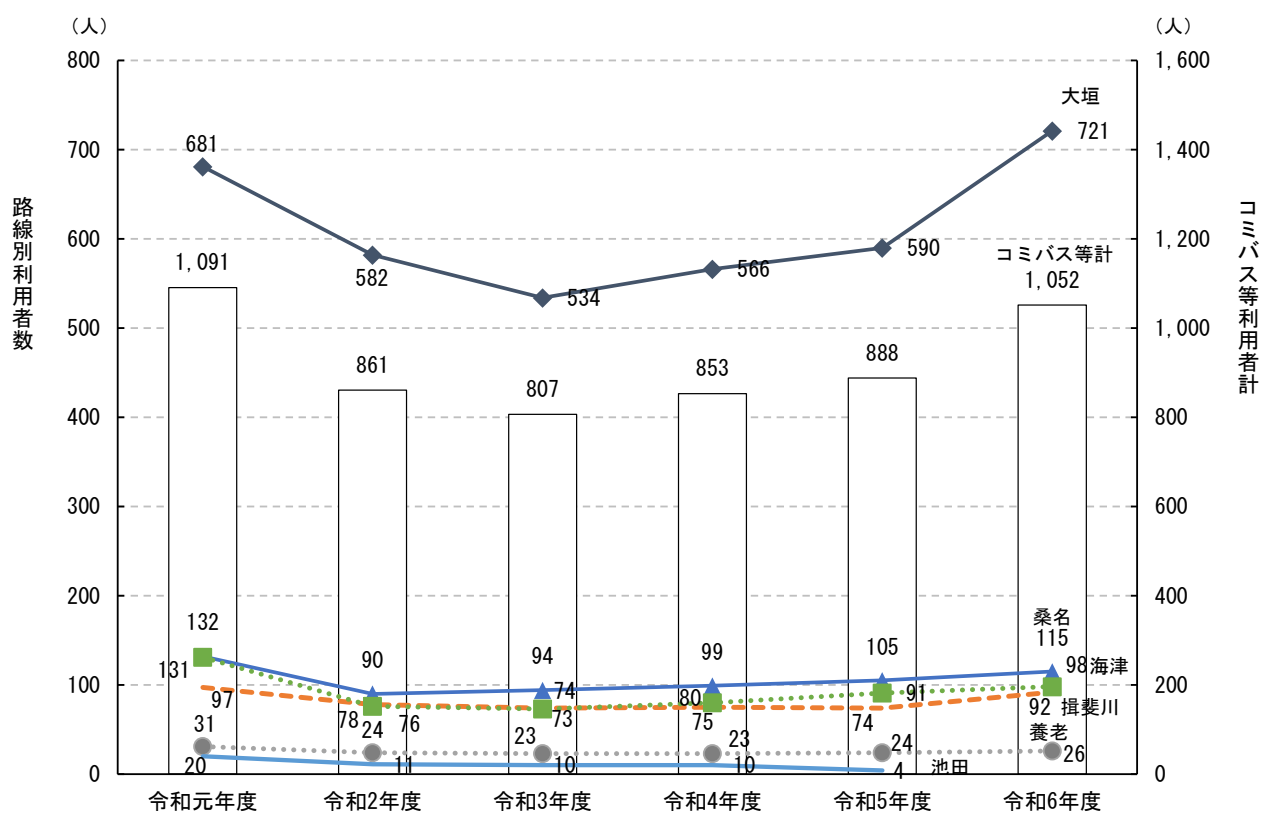


(資料：事業者、沿線市町データ)

▼ 養老線沿線バスの沿線市町コミュニティバス・自主運行バス・デマンドバス利用者数の推移
(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
桑名市	131,917	90,045	93,558	98,769	104,809	114,948
コミュニティバス	131,917	90,045	93,558	98,769	104,809	114,409
オンデマンドバス	—	—	—	—	—	539
海津市	96,604	77,754	74,281	75,107	74,026	92,399
コミュニティバス	76,414	60,180	57,842	60,180	57,978	74,208
デマンドバス	20,190	17,574	16,439	14,927	16,048	18,191
養老町オンデマンドバス	30,783	23,550	22,504	22,732	23,958	25,865
大垣市自主運行バス等	680,618	582,145	533,812	565,893	590,306	721,008
池田町コミュニティバス	19,791	11,499	9,834	10,334	4,307	—
揖斐川町コミバス・デマンドバス	131,029	75,524	72,823	79,749	90,605	97,718
コミバス等計	1,091,023	860,517	806,812	852,584	888,011	1,051,938

注：年度は、バス年度を使用。(各年度 10月1日～9月30日)ただし、一部異なるものもある
※揖斐川町は、令和元年10月からバス再構築により、路線バスの縮小、デマンドバスの導入を開始
※池田町は令和5年9月末でコミュニティバスは運行を終了し、タクシー利用助成制度の拡充を行う
※桑名市は令和7年2月からオンデマンドバスを運行開始(西部南エリア)



(資料：沿線市町データ)

(3) 関連計画・社会環境の整理

① 養老線沿線自治体の地域公共交通計画の策定状況

※地域公共交通計画を策定している自治体のみを記載

a) 大垣市地域公共交通計画	
策定年次	令和7年3月
計画期間	令和7～11年度
目指す将来像	誰もが安心して暮らせる地域交通ネットワーク都市・大垣
基本方針	基本方針1 公共交通軸を中心とした地域交通ネットワークの維持・活性化 基本方針2 使える地域交通体系の構築 基本方針3 持続可能な地域交通の推進
b) 海津市地域公共交通計画	
策定年次	令和2年3月（令和6年1月 改定）
計画期間	令和3～8年度
目指す将来像	みんなでつくる、便利な公共交通網
基本方針	基本方針Ⅰ 持続可能性を考慮した公共交通網の構築 基本方針Ⅱ 関係者の協働による公共交通網の構築 基本方針Ⅲ 住民が主体的に参画するための仕組みの構築
c) 養老町地域公共交通計画	
策定年次	令和7年3月
計画期間	令和7～12年度
基本的な方針	地域を繋ぎ、人と人を繋ぐ地域公共交通が充実したまち 養老
地域公共交通の目標	目標Ⅰ 多世代が住み続けられるまちに向けた、地域公共交通の確保・維持 目標Ⅱ やさしい公共交通に向けた、みんなが利用しやすくなる取組みの推進 目標Ⅲ 持続的な公共交通に向けた、関係者ととともに絆でつながる取組みの推進
d) 岐阜県地域公共交通計画	
策定年次	令和4年7月
計画期間	令和4～9年度
基本方針	地域公共交通の維持・活性化による「誰もが暮らしやすい地域」の実現
計画目標	【広域交通：地域をつなぐ「広域交通」の確保・維持】 【暮らしを支える「地域内交通」の維持・確保】 【地域公共交通の「活性化」（効率化・利便性向上・利用促進等）】
e) 三重県地域公共交通計画	
策定年次	令和6年3月（令和7年6月 改正）
計画期間	令和6～10年度
めざす姿	県民の多様なニーズに対応した、持続可能な地域交通の実現
計画目標	基本方針① 地域内交通：日常生活を支える地域内交通の維持・確保 基本方針② 広域交通：広域交通ネットワークの構築・活性化 基本方針③ 環境整備：地域公共交通を支え、発展させる環境整備

② 養老線沿線市町に関連する都市計画区域マスタープラン

a) 大垣都市計画区域マスタープラン	
変更年次	令和2年12月
関係市町	大垣市、垂井町、神戸町、安八町
都市づくりの基本理念	暮らしやすさを実感できる産業文化都市の形成
b) 海津都市計画区域マスタープラン	
変更年次	令和3年1月
関係市町	海津市
まちづくりの基本理念	美しく潤いのある自然環境の中で、 いつまでも安心して生活できる、まちづくり
まちづくりのテーマ	① 地域の魅力を活かし、活力を育む土地利用の推進 ② 機能的で暮らしやすい都市施設の整備 ③ 暮らしやすい市街地・集落の整備
c) 養老都市計画区域マスタープラン	
変更年次	令和3年1月
関係市町	養老町
都市づくりの基本理念	誇りと愛着が持てる 絆 を大切にするまち 養老
都市づくりの目標	(1) 活気に満ちたまちづくり (2) 地域性を活かしたまちづくり (3) 快適に住み続けられるまちづくり
d) 揖斐都市計画区域マスタープラン	
変更年次	令和3年1月
関係市町	揖斐川町、大野町、池田町
都市づくりの基本理念	水と緑に抱かれた新郷土文化圏の形成を目指し 音色豊かなトライアングル（自然・健康・快適・ぬくもり）都市の建設
都市づくりの目標	1. 水と緑という地域の自然資源を活かしたまちづくり 2. 健康で安全・安心に暮らせるまちづくり 3. 快適、便利、機能的等の豊かな生活空間のあるまちづくり 4. 活力と豊かな暮らしのあるまちづくり 5. 住民参加・協働によるまちづくり
e) 桑名都市計画区域マスタープラン	
変更年次	令和3年2月
関係市町	桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町
都市計画の理念	未来に向けて新しい価値を創造する都市（まち）
都市づくりの目標	(1) 地域の個性を活かした魅力の向上 (2) 都市機能の効率性と生活利便性の向上 (3) 災害に対応した安全性の向上 (4) 産業振興による地域活力の向上 (5) 県民と共に考える地域づくり（上記4つの方向の土台）

③ 公共交通を取り巻く社会環境

a) 「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト

国土交通省では、全国の「地域の足」「観光の足」を確保するための「交通空白」の解消に向けた取組や、地域の多様な関係者の「共創」により、地域交通の利便性・生産性・持続可能性を高める取組、さらには地域公共交通計画の策定・アップデート等を広域的に推し進める人材の育成を後押ししています。

▼ 共創モデル実証運行事業／モビリティ人材育成事業の概要

「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（令和7年度）

【担当部署】
総合政策局（地域交通課）

共創モデル実証運行事業／モビリティ人材育成事業

交通を地域のくらしと一体として捉え、地域の多様な関係者の「共創」(連携・協働)※によりその維持・活性化に取り組む実証事業、人材育成を支援します！ ※「共創」:「官民共創」「交通事業者間共創」「他分野共創(交通と他分野の垣根を越えた連携)」

1. 共創モデル実証運行事業

補助対象事業者
交通事業者等※を含む複数主体で構成される協議会や連携スキーム等（**共創プラットフォーム**）
※交通事業者等:一般乗合・一般乗用旅客自動車運送事業者、鉄軌道事業者、一般旅客定期航路事業者、公共ライドシェアの実施主体、シェアサイクル等の事業実施主体、道路運送法上の許可・登録を要しない輸送サービスの実施主体 等
(注) 単一の事業者のみでは補助対象となりません。

補助対象経費
新たな事業の立ち上げ及び実証運行に係る以下の経費対して支援を実施
①基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費（有識者謝金・会場使用料 等）
②システム構築（配車・運行管理・AIオンデマンド 等）、実証運行に使用する車両導入（車両の購入・リース等）による取得・改造に要する経費
③実証事業に要する経費（新規運行に係る経費、実証環境の整備 等）

補助率	A 中小都市、過疎地など (人口10万人未満の自治体)	B 地方中心都市など (人口10万人以上の自治体)	C 大都市など (東京23区・三大都市圏の政令指定都市)
	500万円以下は 定額 、 500万円超部分は 2/3	補助率 2/3	補助率 1/3

【事業例】 ※R5年度:77事業、R6年度:256事業を支援
 ○スクールバス・介護輸送・商業施設送迎等の地域輸送資源の混乗化、遊休時間帯における地域路線への活用
 ○介護予防プログラムの一環として公共交通を利用した外出を促進（介護予防財源の活用）
 ○教育委員会との連携による児童の登下校・部活動送迎にあわせたデマンド交通等の実証運行
 ○商工会議所・商工会や社会福祉協議会、観光協会、地域金融機関、農協等の地域経済界による取組 等



▲ 他分野共創の分類例

2. モビリティ人材育成事業

(定額：上限3,000万円)

補助対象事業者 地域における交通やまちづくりに取り組む人材の育成を行う都道府県、市町村・民間事業者等

補助対象経費 地域交通分野におけるモビリティ人材の育成に関する取組実施経費 (注) 市町村域を超えた広域的な取組に限ります。

問合せ先 各地方運輸局交通政策部交通企画課 等（別紙参照）

※応募にあたっては、自治体又は運輸局の推薦を受けていることが要件となります。
※自治体については、「交通空白」解消・官民連携プラットフォームに加入していることが要件となります。

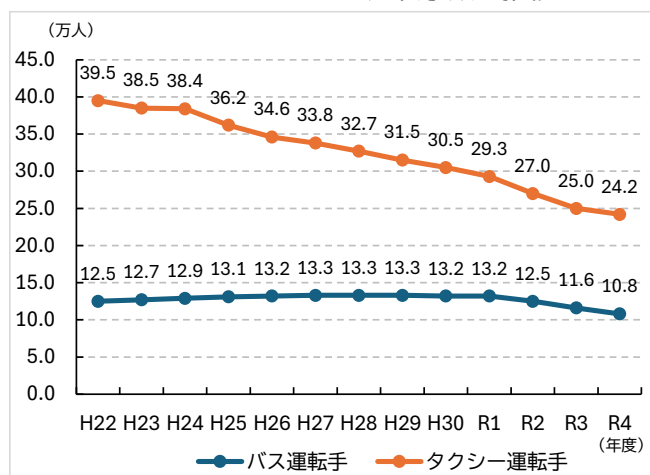
公募期間 令和7年3月10日（月）～4月7日（月）
【採択時期目安：令和7年5月上旬（予定）】

(資料：国土交通省)

(2) 担い手不足

路線バスは、少子高齢化・人口減少の進展や、マイカーの普及やライフスタイルの変化等により、これまでも輸送需要そのものが減少していましたが、運転手不足を理由として、全国各地で減便や廃止が相次いでおり、地域住民や観光客の移動手段の確保の観点から大変深刻な状況となっています。

▼ バス・タクシーの運転手数の推移



(資料：国土交通省)

3 養老線沿線の公共交通に関するニーズ・提言

(1) アンケート・ヒアリング調査

養老線沿線の公共交通の課題整理にあたり、沿線市町の住民、養老線利用者、沿線施設利用者、沿線事業所といった幅広い主体へニーズ調査を実施しました。

▼ 調査概要

区分	調査の対象・回収状況	調査方法・時期	主な内容
沿線住民	【対象】 養老線沿線各市町の住民 3,500 世帯 【回収】 1,716 票 (49.0%)	【方法】 郵送配布、郵送・Web 回収 【期間】 配布：令和 6 年 8 月 29 日 締切：令和 6 年 9 月 27 日	① 回答者属性 ② 通勤・通学の移動実態 ③ 買物・通院の移動実態 ④ 養老線の利用状況・必要性 ⑤ 養老線の満足度 ⑥ 養老線の改善事項
利用者	【対象】 養老線の主要 10 駅の利用者 (桑名、多度、石津、駒野、養老、美濃高田、大垣、広神戸、池野、揖斐) 【回収】 414 票 (ヒアリング 91 票+Web323 票)	【方法】 主要 10 駅でヒアリング +Web 回答 【期間】 配布：令和 6 年 9 月 25 日 締切：令和 6 年 10 月 11 日	① 回答者属性 ② 養老線の利用状況 (調査当日の利用について) ③ 養老線の満足度 ④ 養老線の改善事項
沿線施設利用者	【対象】 養老線沿線の集客施設 10 ヶ所*の利用者 【回収】 134 票 (ヒアリング 85 票+Web49 票)	【方法】 集客施設 10 ヶ所でヒアリング +Web 回答 【期間】 令和 6 年 11 月 12 日～22 日 (施設毎に日付を設定)	① 回答者属性 ② 利用交通手段 ③ 施設の利用頻度 ④ 養老線の満足度 ⑤ 養老線の改善事項
沿線企業	【対象】 養老線沿線に立地し、通勤に 養老線を利用できる可能性がある企業 【回収】 35 票	【方法】 各市町より回答フォームアクセスコード付きのお願い文をメール等にて送付、Web 回収 【期間】 配布：令和 7 年 9 月末 締切：令和 7 年 10 月末	① 事業所の概要 ② 交通手段別通勤者数 ③ 通勤での公共交通利用の不便な点 ④ 通勤における公共交通利用促進について ⑤ 企業としての環境対策

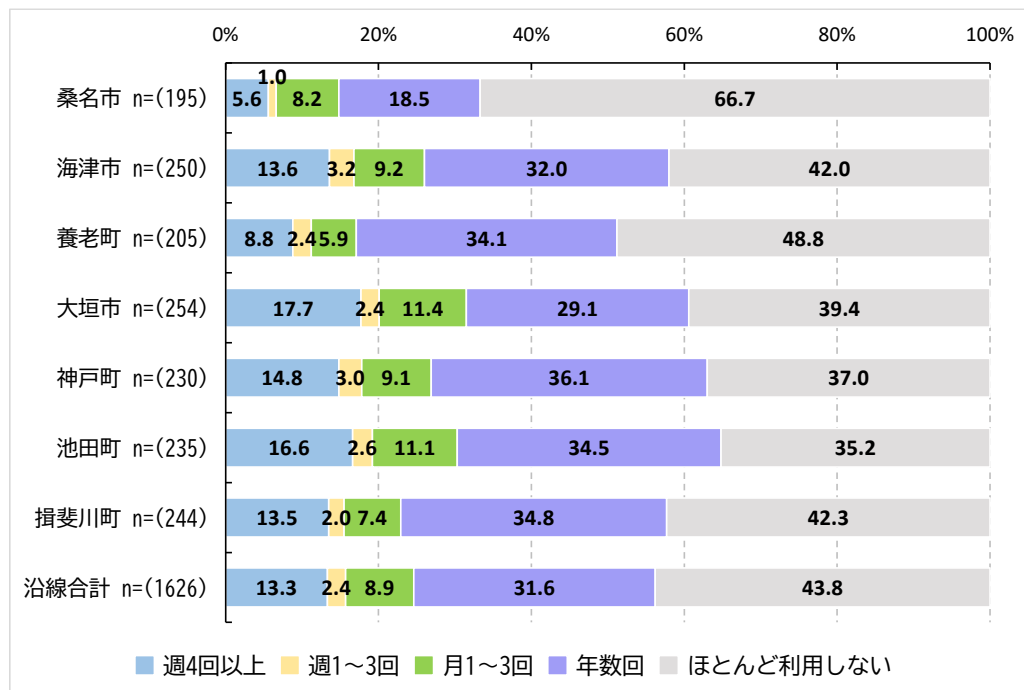
* アクアウォーク大垣、神馬の湯、アピタ桑名店、一号館南濃店、可知医院、養老町役場、養老公園、神戸町立図書館、中華料理サンコック揖斐駅前店、池田町役場

① 養老線沿線住民等に対するアンケート調査

■ 集計結果概要

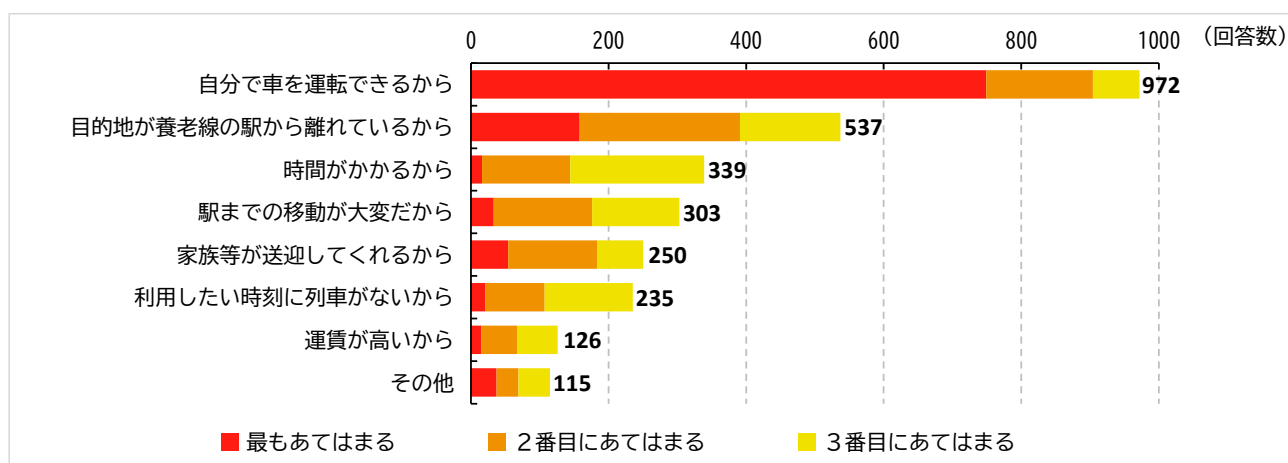
- 年数回以上養老線を利用する沿線住民の割合は 56.2%
- 市町間で利用割合に差があり、池田町が最も利用割合が高く（64.8%）、桑名市が最も低い（33.3%）

▼ 養老線の利用頻度



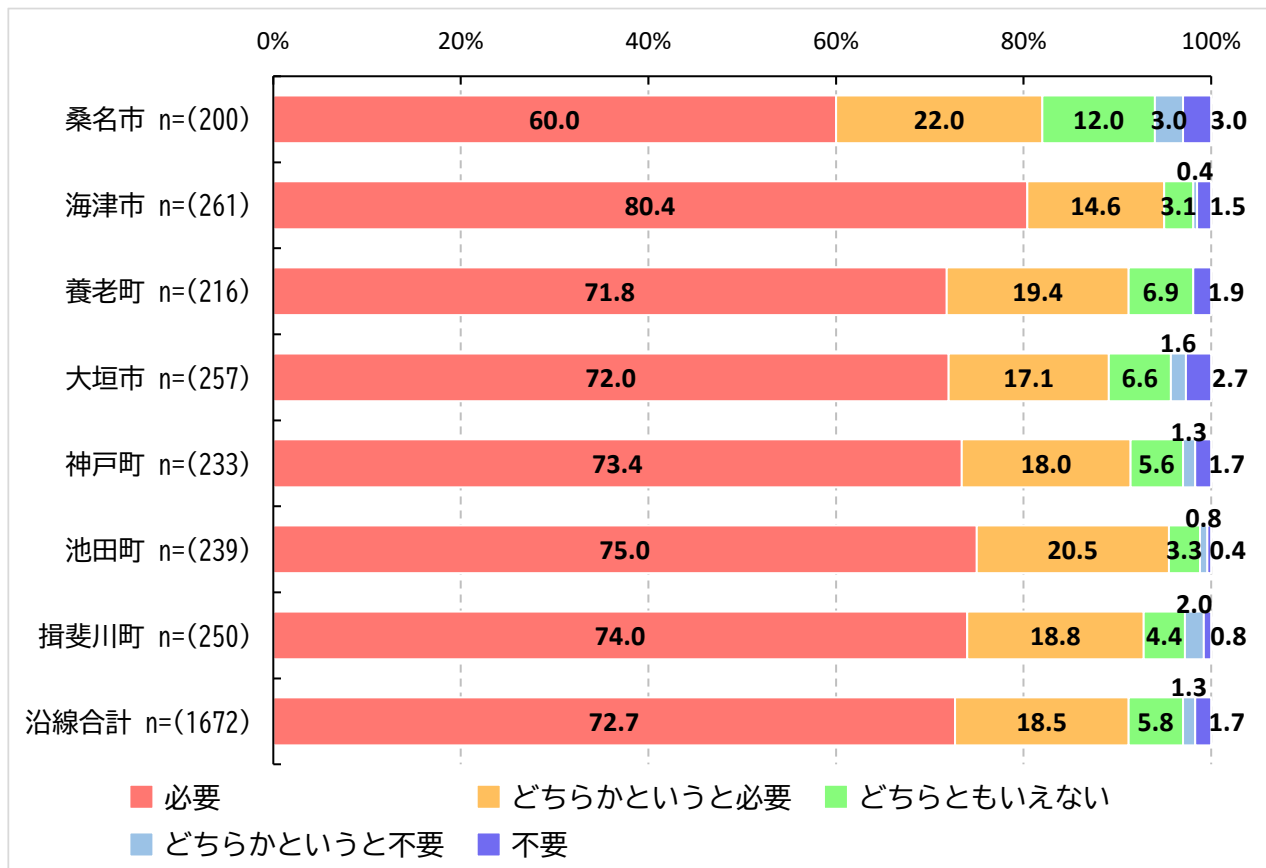
- 養老線を利用しないのは、「自分で車を運転できるから」という理由が最も多い回答
- 養老線を移動手段の選択肢に入れた上では「目的地が養老線の駅から離れているから」という理由が最も多い回答

▼ 養老線を利用しない理由（3つまで選択）



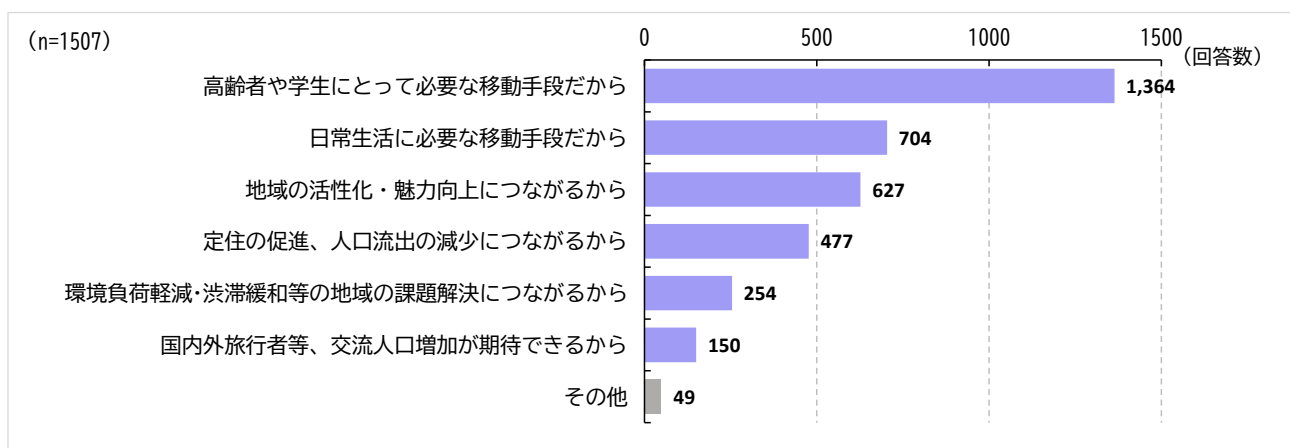
- 必要性を感じている住民（「必要」＋「どちらかという必要」）は91.2%
- 全ての市町で必要性を感じている住民が8割を超えている

▼ 地域にとっての養老線の必要性



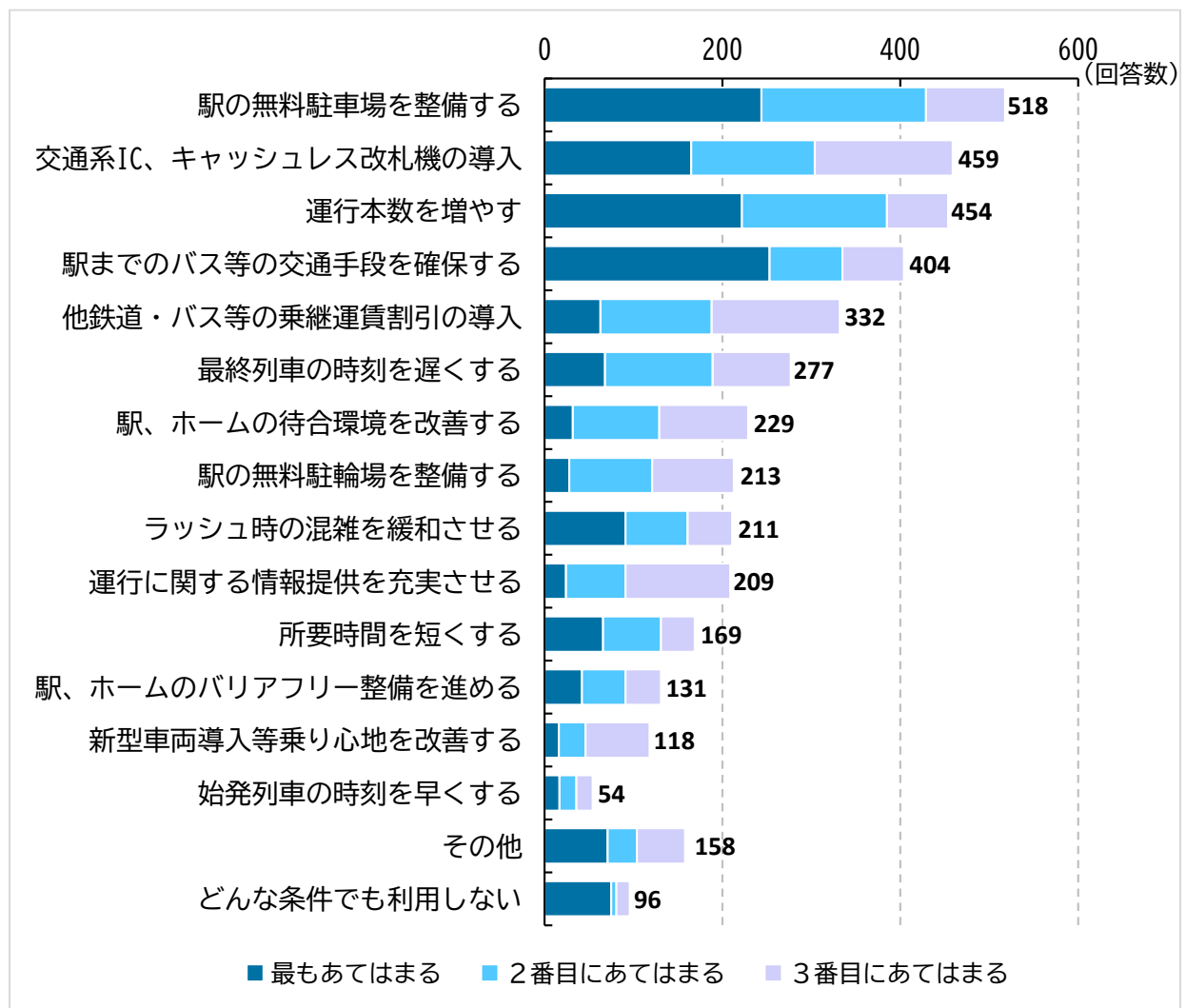
- 必要だと思う理由は「高齢者や学生にとって必要な移動手段だから」が最も回答が多い

▼ 養老線が必要だと思う理由（「必要」、「どちらかという必要」と回答した人、複数回答）



- サービス改善内容では「駅の無料駐車場を整備する」が最も回答数が多い
次いで「交通系ＩＣ、キャッシュレス改札機の導入」「運行本数を増やす」

▼ 養老線のサービス改善について（複数回答）

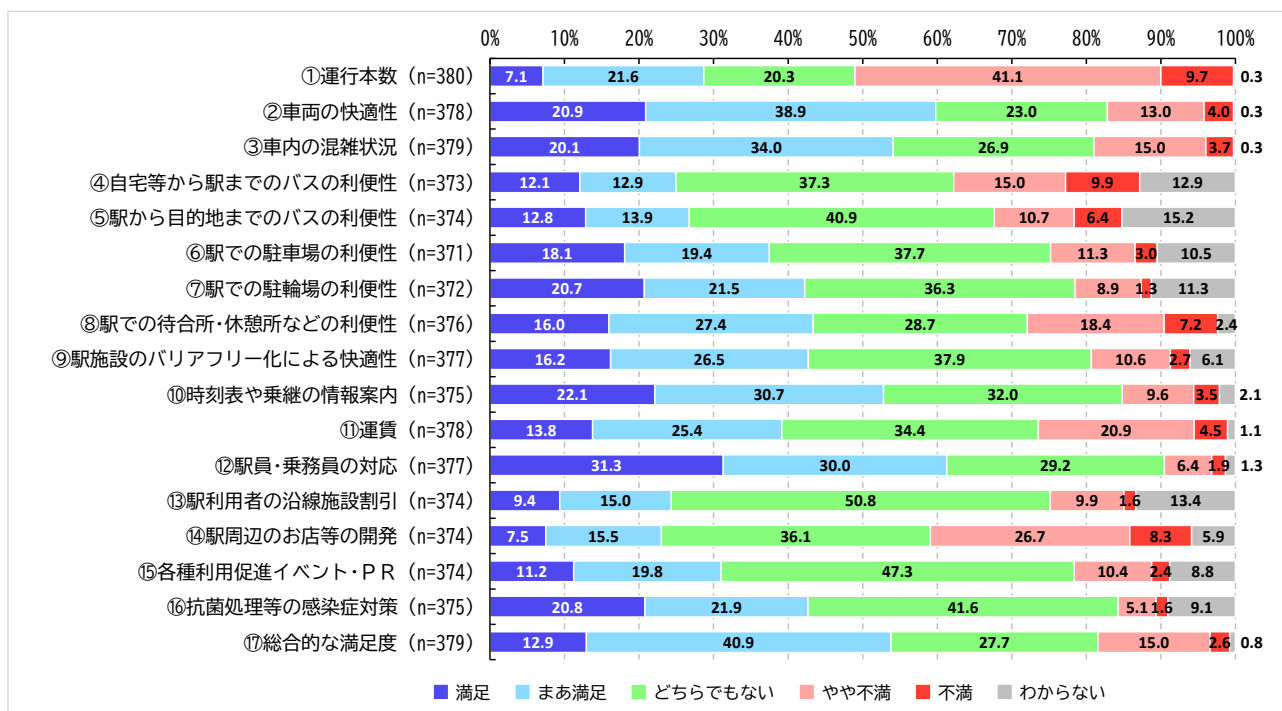


② 養老線利用者に対するヒアリング調査

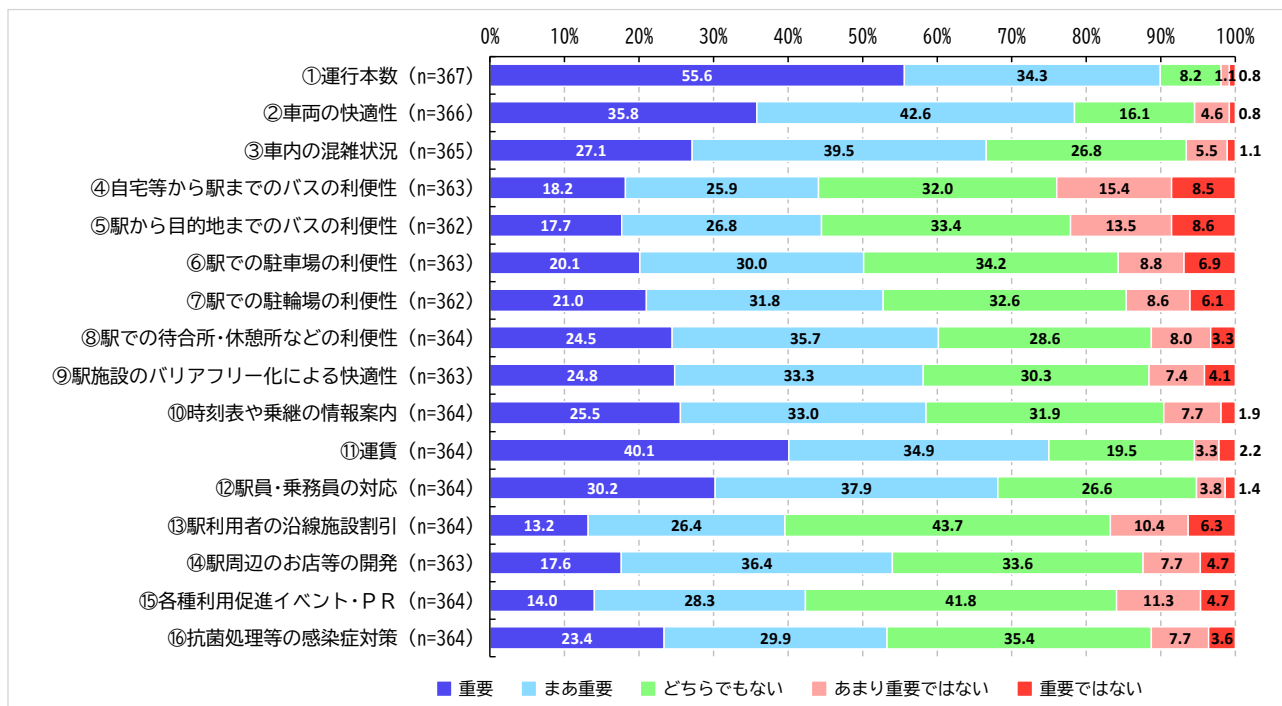
■集計結果概要

- 「総合的な満足度」は53.8%（「満足」＋「まあ満足」の割合）
- 不満割合（「不満」＋「やや不満」の割合）が高い項目は「運行本数」（50.8%）、「駅周辺のお店等の開発」（35.0%）、「駅での待合所・休憩所などの利便性」（25.6%）の順で高い
- 項目の重要度（「重要」＋「まあ重要」の割合）は「運行本数」（89.9%）、「車両の快適性」（78.4%）、「運賃」（75.0%）の順で高い

▼ 養老線のサービス項目別満足度

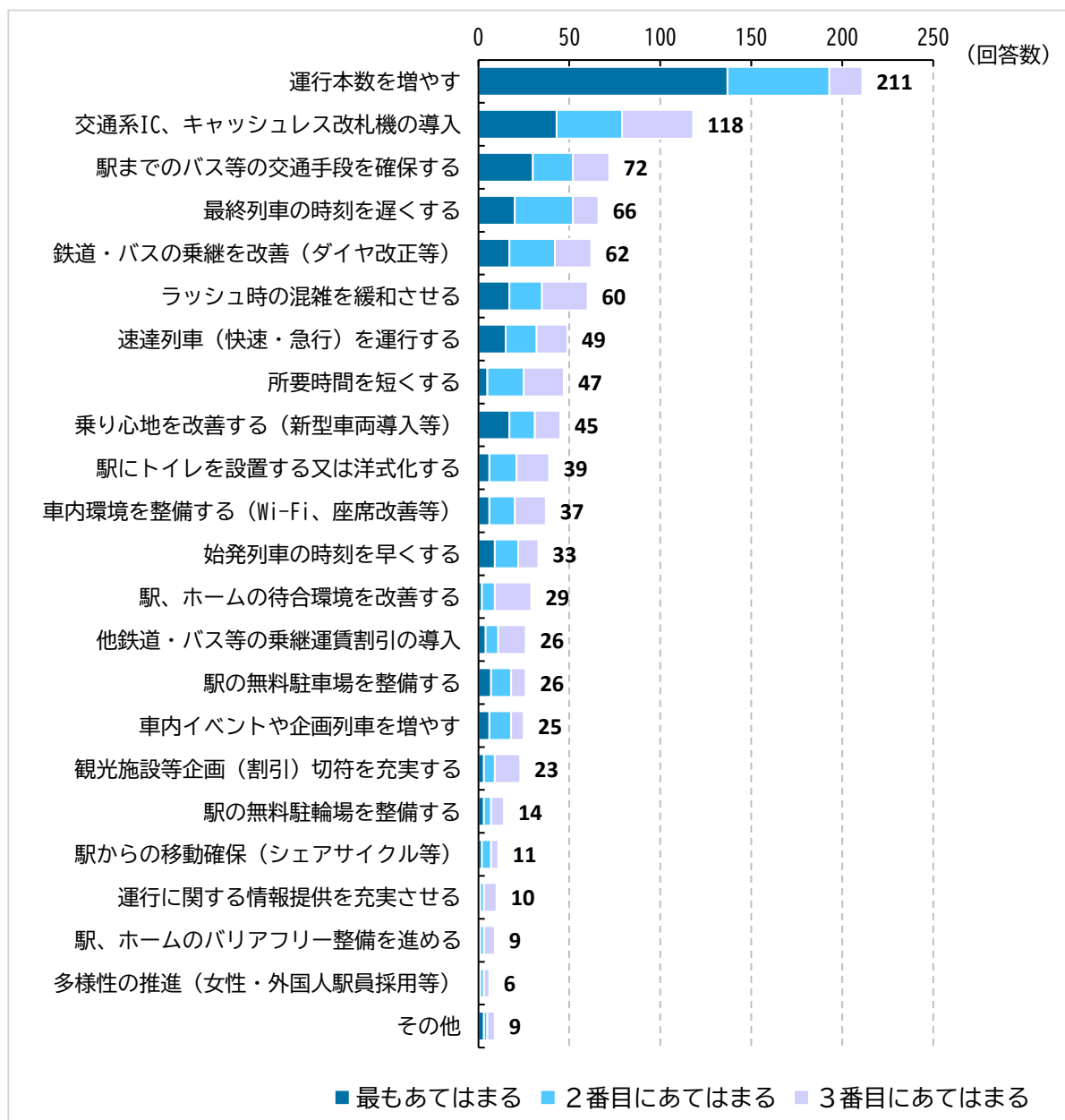


▼ 養老線のサービス項目別重要度



- サービス改善内容では「運行本数を増やす」が最も回答数が多い
次いで「交通系IC、キャッシュレス改札機の導入」「駅までのバス等の交通手段を確保する」

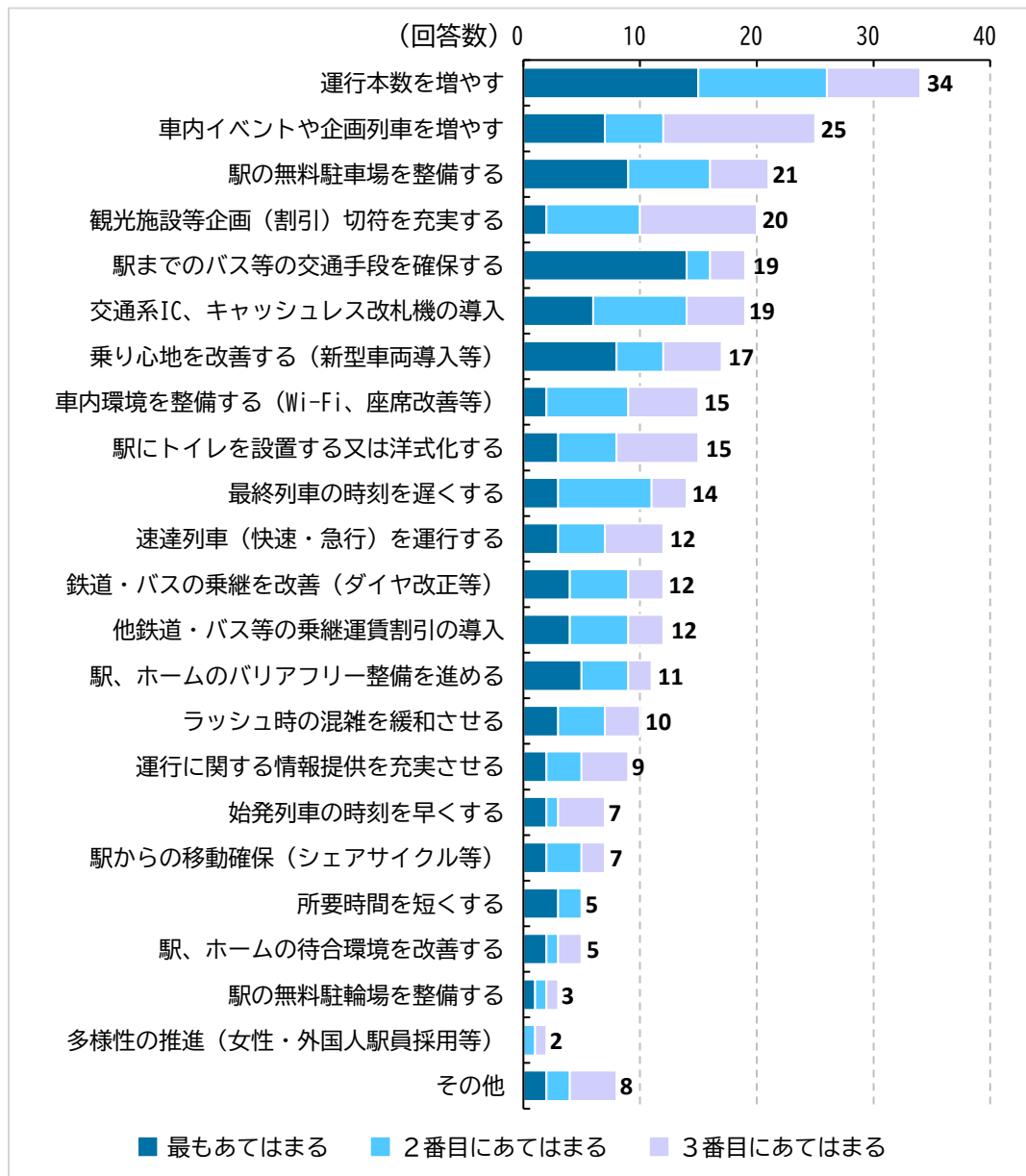
▼ 養老線のサービス改善について（複数回答）



③ 養老線沿線施設利用者に対するヒアリング調査

- サービス改善内容では「運行本数を増やす」が最も回答数が多い
次いで「車内イベントや企画列車を増やす」「駅の無料駐車場を整備する」

▼ 養老線のサービス改善について（複数回答）



④ 養老線沿線企業アンケート調査

■集計結果概要

a) 所在地

桑名市	海津市	養老町	大垣市	神戸町	池田町	揖斐川町	(社)
2	5	2	9	5	7	5	

b) 従業員数

100 人未満	100～300 人未満	300～500 人未満	500～1,000 人未満	1,000 人以上	(社)
9	16	4	5	1	

c) 公共交通を通勤に利用している社員がいるか ※手段は複数回答

いる	いない	(社)
20	15	



電車	路線バス	コミュニティバス	デマンド型交通	タクシー	(社)
19	6	2	0	1	

d) 通勤のために公共交通を利用する際に不便だと思うこと ※複数回答

選択肢	回答数(社)
運行頻度が少ない	27
通勤の所要時間が長くなる	26
自宅・会社と駅を連絡するバスがない	23
乗り継ぎが発生する	20
運行時間帯が就業時間と合わない	16
駅周辺に駐車場・駐輪場がない	4
その他	3

e-①) 望ましいと考えられる通勤手段

公共交通	自家用車	社用車
7	27	1

(社)

e-②) 望ましいと思う理由(抜粋)

○公共交通

交通事故の防止、安全性の高さ(4社)

環境への配慮(2社)

駐車場不足の解消(1社)

○自家用車

自宅や会社から駅までが遠い(13社)

勤務時間と運行時間のミスマッチ(4社)

近隣の従業員が多い(2社)

○社用車

現場に直行直帰できる(1社)

f) 通勤手段として公共交通利用を促進することによるメリット

大いに感じる	どちらともいえない	ほとんど感じない
4	12	19

(社)

g) 公共交通を通勤に利用する上での課題やアイデア(自由意見、抜粋)

沿線への商業施設や住宅地の誘致(駅への徒歩圏内)や、利用が見込まれる場所へ駅を設置する。
駅前に魅力ある建物を建てる。
鉄道からコミュニティバスの利用がスムーズであれば利用が増える。
駅までの移動手段の選択肢が多くなるとよい。
主要な交通系ICカード利用ができるとよい。利用回数や距離でポイントが付くとよい。
駅舎などが写真映えするとよい。
駅周辺に何か観光ができる場所があり、それをうまくアピールできるとよい。
駅が近くにない。
通学専用バス導入してはどうか 揖斐駅・本揖斐駅から学校へアクセスさせてはどうか。
沿線企業の出退勤時間に合わせたダイヤで運行する。
就労人数が多い地域に駅があると、公共交通機関を利用し、通勤する人が増えると思う。
基本的に自家用車通勤の方が多く、整備されても利用者は少ないと思われる。
通勤時間帯の運行本数を増加させ、自宅から駅までの交通手段を確保する。
駐車場の整備と路線の増加があればありがたいが、土地の問題やそれ以外での利用者の増加など課題がある。

(2) ワークショップ

養老線交通圏地域公共交通計画の実効性を高めることを目的として、養老線沿線の様々な関係者各々の視点から、多様な意見を収集し、養老線の価値向上及び持続的な利用促進に資する具体的な施策・事業アイデアを検討・整理しました。

▼ ワークショップの概要

区分	対象	方法・時期	主な内容
共創事業推進部会	【対象】 養老線地域公共交通再生協議会の構成員	【方法】 ワークショップ形式 【期間】 第1回：令和7年10月9日 第2回：令和7年10月30日 第3回：令和7年12月3日	・養老線の改善アイデア ・アイデアの実現可能性 ・養老線とのコラボレーションによる利用促進策 ・養老線への提言
高校・大学生	【対象】 養老線沿線に立地する高等学校の生徒、養老線沿線から通学する大学生	【方法】 ワークショップ形式 【期間】 第1回：令和7年11月3日 第2回：令和7年11月30日 第3回：令和7年12月20日	・養老線の良い所、改善してほしい所 ・養老線の改善アイデア ・養老線への提言

▼ ワークショップの様子



① 共創事業推進部会

■グループでの意見

グループA：【テーマ】養老線自体を強く・元気にする

どんな事業・取組 (取組のタイトル)	どんな内容か どうやってやるか	誰がやるか いつごろやるか	備考
駅名の改称・ 副駅名の設定	【学校の例】 大外羽駅→南高前駅 青柳駅 →大工前駅 烏江駅 →大垣養老前 下深谷駅→桑名北高校前駅 【観光の例】 揖斐駅→谷汲山などの観光地 多度駅→多度大社口駅	【方法】 名称の公募 (学校、周辺住民) 【時期】 至急 【主体】 養老線管理機構	・現在の駅名を残しつつ、副駅名として利用 ・効果として、初めて来る人たちにも知らせることができる ・この必要性を訴えていくことが必要
駅施設の再整備	駅内もしくは駅周辺にあったらしい施設 →トイレ、コンビニ(待ち時間の過ごし方改善)、駐車場や駐輪場の設置 駅のホームと車両の間の危険を知らせるポスターの設置やアナウンスの実施	【方法】 改善後のPR活動として、時刻表や新聞折込・タウン誌の活用	・維持管理が課題 ・「サイクルトレイン」の存在が知られていない
交通系ICカードの導入	交通系ICカード 全国相互利用サービスの導入	【時期】 導入までには結構時間がかかる 【主体】 養老線管理機構・養老鉄道	・メリットは大きいものの、導入するためには設備投資が必要 ・券売機待ちの待機列の減少、混雑の解消

グループB：【テーマ】養老線が周囲と強く繋がり、よりなくてはならない存在にする

どんな事業・取組 (取組のタイトル)	どんな内容か どうやってやるか	誰がやるか いつごろやるか	備考
養老線に対する 意識改革、 利用マインドの 醸成	・ 駅と商業施設・医療施設をバス、ライドシェア、シェアサイクルなどで移動可能にする ・ 交通系 IC カードの導入で養老鉄道利用者へポイントなどサービス提供を実施 ・ ガキ健キャンペーンとの連携 ・ JR線への乗り入れなどのハード面を重視 ・ 古い駅舎の活用などで駅周辺に都市機能を集積させる	【主体】 沿線の商業 医療施設 養老鉄道 各バス会社 各タクシー会社 行政	【効果】 ・ 渋滞解消や駐車場用地の利活用が可能 ・ 健康増進や環境負担の軽減にも期待
通勤・通学での 利用促進	・ 意識改革の実施 ・ 企業や学校の養老線からのアクセス情報の発信 ・ 二次交通としてシェアモビリティ(シェアサイクル、電動キックボード)の導入 ・ カロリー消費量の算出、発信 ・ JR線への乗り入れ ・ 新生活を始めた人にお試し乗車 ・ 企業側へのインセンティブも必要	【主体】 沿線企業 商工会議所 学生 行政	
地域の観光資源 活用イベントの 実施	・ 肉や果物、地酒などの食／歴史やアニメなどの文化／水都大垣にちなんだ自然等これらを活用したツアーやコンセプト列車の運行 ・ インフルエンサーなどによる情報発信 ・ 周知活動に各市町の広報も積極的に活用	【主体】 NPO 養老鉄道 バス会社 沿線の協賛企業 沿線高校 観光協会	【効果】 ・ 関係者との連携強化で、売上増加

グループC：【テーマ】養老線が繋ぐ各まちのポイント（駅やその周辺）をよりよい場所にする

どんな事業・取組 (取組のタイトル)	どんな内容か どうやってやるか	誰がやるか いつごろやるか	備考
鉄道利用者へのイン センティブとして、 地域商店クーポンの 発行	・乗車証明書を発行して、連携する店で割引券として使用できる制度の構築 ・公共バスやシャトルバス、サイクルトレインを観光地まで活用	【主体】 商工会、商工会議所、沿線市町、バス会社 【時期】 準備ができ次第開始	・関係者への周知活動実施
駅を人が集まること のできる場所に整備	・駅に学生の自習室と朝市や地元のイベント会場を兼用できる待合室（机・椅子、冷暖房、自販機程度を完備）を設置 ・スペースが用意できればスタンプラリーや宅配ボックスなどの設置も可能 ・多目的トイレの設置 ・人が集まるようになれば、商業施設（コンビニ・カフェ等）を誘致	【主体】 沿線市町 【時期】 用地取得などの場所の用意ができ次第	・周知活動の実施 ・イベント時の待合室の予約システムの確立 ・イベント開催者の誘致
駅前空間の再整備	・駅前に公園などの憩いの場を整備し、季節ごとのイルミネーションの実施 ・写真スポットの設置と情報提供 ・バスやフードトラックが入れるロータリーの整備	【主体】 沿線市町、沿線企業、学校、バス会社 【時期】 用地取得などの場所の用意ができ次第	・様々な媒体（広報などの紙媒体や SNS）での周知活動の実施 ・学生へのアイデア募集（イルミネーションや写真スポットなど）の実施

② 高校生・大学生等による養老線利用促進ワークショップ

グループA

アイデア名	養鉄大改造計画
アイデアの内容	・ I CカードやQ Rコード決済ができるようにする ・ アプリの開発→M y 駅の設定等 ・ カードのデザインを独自性のあるものにする
それぞれの役割	【養 老 鉄 道】導入への調査、予算などの管理 【沿 線 市 町】予算の支援、沿線のまちづくり、クラウドファンディング 【沿線関係者】カードやアプリ決済の導入 【わたしたち】デザインの応募、使い方をSNSで宣伝

グループB

アイデア名	トレパ
アイデアの内容	・ 春：お花見→電車で駅弁を食べながら桜を見る ・ 夏：花火と夏祭り→コンビニとコラボして屋台風アレンジ、駅で花火 ・ 秋：ハロウィン→電車内をお化け屋敷にする&フォトスポットをつくる ・ 冬：クリスマス→イルミネーションやケーキ作り体験
それぞれの役割	【養 老 鉄 道】イベント計画（日付決め・SNS開設）とPR 【沿 線 市 町】養老鉄道と共同で計画し協力 【沿線関係者】店舗の出店やメニュー開発でイベントに協力 【わたしたち】積極的に参加し、SNSで拡散

グループC

アイデア名	楽しくまちづくり
アイデアの内容	鉄道駅を複合施設にし、その周辺を盛り上げる（駅×**） →待合室を強化（冷暖房、机・椅子、テレビ、Wi-Fi・電源、列車情報） →公民館や行政施設（出張市役所・町役場など） →喫茶店・コンビニ・地元商店の出張販売所など
それぞれの役割	【養 老 鉄 道】運行情報の提供、場所の提供、セット券の企画・販売 【沿 線 市 町】店舗の誘致・ロードサイドからの移転促進、行政施設の設置 【沿線関係者】雇用の創出、店舗の経営 【わたしたち】日常の中で利用すること、アルバイトをする

グループD

アイデア名	養鉄文化祭
アイデアの内容	養老鉄道沿線の高校がブースを出す、地域の高校生による合同文化祭の開催 →各校の取組紹介、実習品の販売（中学生の進路選択の参考にする） →記念切符の発行、オリジナルラッピング列車の運行 （それぞれのデザインコンテストなど）
それぞれの役割	【養 老 鉄 道】文化祭の主催、来場者の輸送 【沿 線 市 町】会場の準備、各校との連携 【沿線関係者】キッチンカーの出店、文化祭の後援 【わたしたち】文化祭の運営

グループE

アイデア名	乗るたび変わり、地元とつながる養老鉄道
アイデアの内容	季節ごとのデザインを車両内外にラッピングする →地元の小中学生にアイデアを募る（つり革などには複数採用） 夏・冬でシートを衣替えする →シートの貼り替えを沿線住民が行うなど、イベント化する 季節ごとの沿線特産品を使用した駅弁や和菓子等を考案する →7市町それぞれの特色を出したり、高校生がアイデアを出したりする
それぞれの役割	【養 老 鉄 道】物品の準備 【沿 線 市 町】関係者間の調整、特産品の用意 【沿線関係者】デザインメニューの考案、駅弁等の生産 【わたしたち】デザインメニューの考案、楽しく利用

4 養老線交通圏の地域公共交通の課題

前章までに整理した養老線交通圏の地域や公共交通の現状、各種ニーズ等より、養老線交通圏の地域公共交通の課題を整理します。

課題① 養老線の利便性向上による利用促進

(増便等ダイヤ改善、駅施設機能改善、交通系ＩＣ導入、運行の安全性・快適性などへの対応)



【関連する個別課題】	地域概況	公共交通の現状	アンケート調査	ワークショップ
沿線人口が減少する中、養老線の持続可能性を高めるには新たな利用者の確保が必要	●	●		
養老線は利用ピーク時間帯の混雑緩和（増便、連結車両増）や大垣駅、桑名駅でのＪＲ、近鉄、樽見、三岐線への接続改善などが必要		●		
養老線の収益性を上げ、持続可能性を高めるため、昼間帯や休日の利用者（主に定期外利用者）を確保することが必要		●		
「運行本数を増やす」「最終列車を遅くする」「通勤通学時の混雑緩和」「ＪＲ線等との乗継の改善」といったダイヤ改善が必要			●	●
「交通系ＩＣ・キャッシュレス改札機の導入」「乗り心地改善」「車内環境の整備」といったハード的改良整備が必要			●	●
養老線が果たす役割として「日常生活」「高齢者や学生」にとって必要な移動手段としての利用価値が求められており、養老線の安全で安定的な運行継続が必要			●	

課題② まちづくりと一体となった、養老線駅及び駅周辺の環境整備
(駅とその周辺がにぎわいの拠点や目的地となるまちづくりとしての対応)



【関連する個別課題】	地域概況	公共交通の現状	アンケート調査	ワークショップ
養老線沿線には大規模事業所が複数立地しているものの、事業所の従業員の利用が少ない	●	●	●	
養老線の新たな利用者獲得のため、沿線事業所や商業施設の近くに新駅の設置や、既設駅周辺を拠点施設整備する等まちづくりの推進が必要	●	●	●	●
養老線の鉄道施設整備では「駅待合環境の改善」「駅施設のバリアフリー化」「トイレの設置」といったハード的改良整備が必要			●	●
駅舎や駅周辺を再整備や有効活用し、駅周辺を人が集う「にぎわいの場所」とすることが求められている			●	●
駅の副駅名に観光地や周辺施設等の名称の採用等により、対外的な認知を上げることが必要				●

課題③ 養老線駅への二次交通の改善と交通結節点機能の充実
(バス等駅アクセス改善、無料駐車場等整備、運転手等担い手不足などへの対応)



【関連する個別課題】	地域概況	公共交通の現状	アンケート調査	ワークショップ
バス等の交通事業者と連携し、養老線駅へのアクセス、養老線駅からのイグレスに対応したルートや時間帯での運行を確保することが必要		●	●	
養老線や公共交通の利用割合を高めるためには、養老線駅と自宅や目的地を結ぶバス等の二次交通の確保及び駅の無料駐車場等の整備等アクセス性の向上が必要		●	●	●
増加する免許返納高齢者や外国人が安心し、養老線を日常の移動に利用できる仕組みや施設整備が必要	●	●		
全国的に運転士などの公共交通の担い手が不足していることへの対策が必要		●		

課題④ 養老線沿線資源を関係者と戦略的に活用し、新たな地域価値の共創
（教育・商業・観光・企業等官民連携による養老線利活用への対応）



【関連する個別課題】	地域概況	公共交通の現状	アンケート調査	ワークショップ
養老線沿線住民の利用頻度が少ない（利用しない～年数回）ことから、過度な自家用車の利用からの公共交通への転換を促し、養老線の利用割合を高める施策が必要			●	●
養老線の日常利用を促進するには、沿線関係者と一体的に利用マインドの醸成に資する施策展開が必要（利用によるインセンティブの付与等）				●
高等学校をはじめとした学校の行事とのタイアップ等により、対外的な認知を上げることが必要				●

5 養老線交通圏の将来像・基本的な方針・目標

ここでは、養老線交通圏の将来像を設定し、前章で整理した養老線交通圏の地域公共交通の課題を解消するための基本的な方針や目標を定めます。

2県7市町に跨って運行する養老線の運行によって、沿線地域どうしの交流を促進するとともに、将来にわたって沿線地域に安心して居住し続けられる、養老線を中心とした、各種バス交通やタクシー等が効果的に結節した地域の公共交通ネットワークを再構築することを目指し、養老線交通圏の将来像を次のとおり設定します。

【養老線交通圏の将来像】

人をむすび、まちをつなぎ、地域の未来を創る
養老線を軸とした 地域公共交通ネットワークの再構築

【養老線交通圏の地域公共交通の課題】

【基本的な方針・目標】

課題① 養老線の利便性向上による
利用促進

方針Ⅰ 養老線を安心して便利に利用できる
地域公共交通の基幹軸へ
アップグレードします
→目標：養老線の利便性・持続性の向上
(鉄道事業再構築事業の確実な実施)

課題② まちづくりと一体と
なった、養老線駅及び
駅周辺の環境整備

方針Ⅱ まちづくりと連携した養老線駅周辺の
環境整備やにぎわい拠点づくりを
推進します
→目標：養老線駅やその周辺が目的地となるよう
なまちづくりとの連携

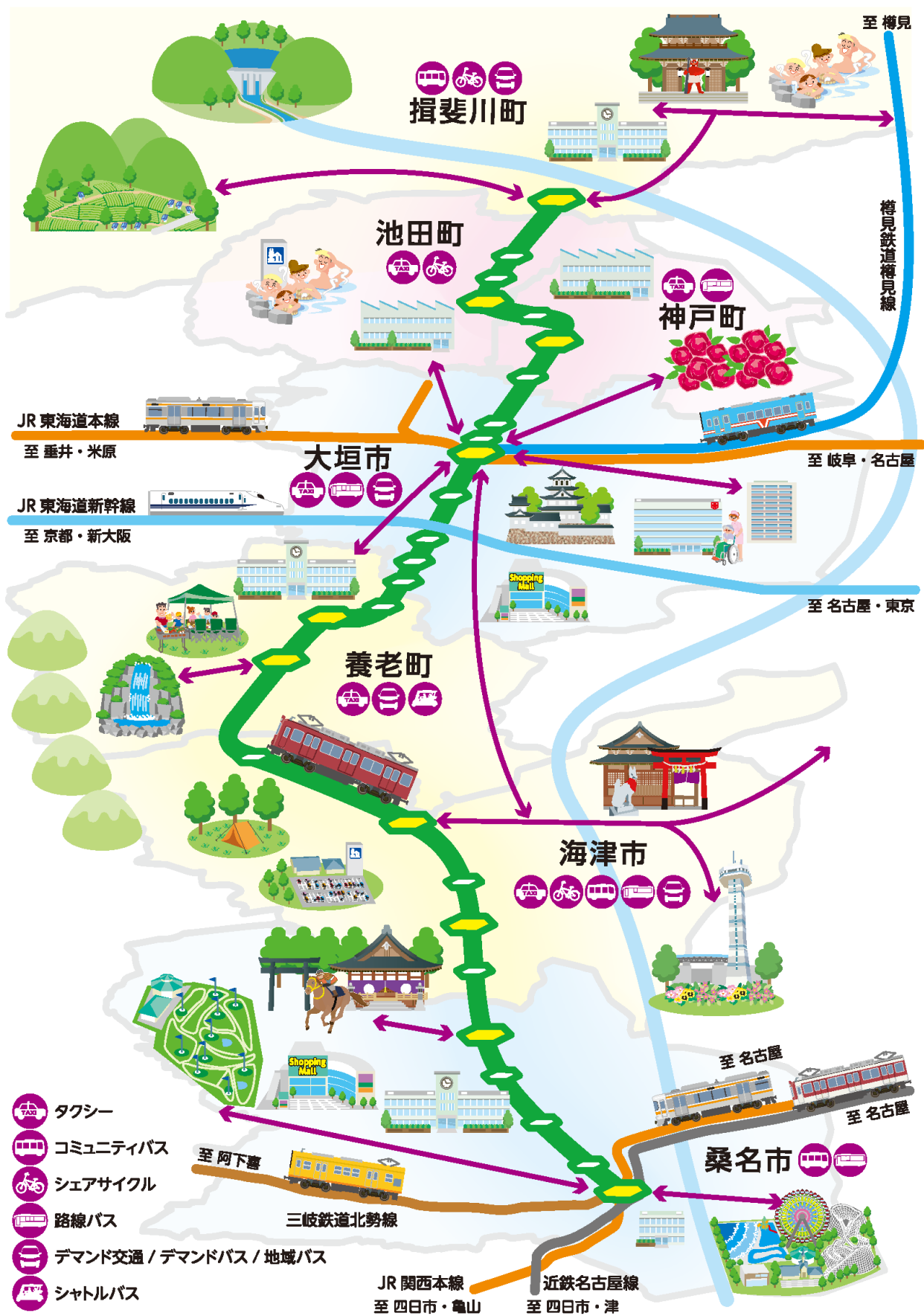
課題③ 養老線駅への二次交通の
改善と交通結節点機能の
充実

方針Ⅲ 養老線交通圏における
移動の充実を図ります
→目標：養老線主要駅へのアクセス改善、
駅から目的地への移動手段の確保

課題④ 養老線沿線資源を関係者と
戦略的に活用した、
新たな地域価値の共創

方針Ⅳ 沿線の観光資源や多様な関係者との
協働・共創により、養老線の利用を
促進します
→目標：沿線の観光資源や企業・学校等と
連携した養老線利用促進の強化

▼ 将来像を展開した養老線交通圏のイメージ図



6 目標を達成するために行う施策及び事業

前章で定めた目標を達成するために実施する施策及び事業について、次のとおり定めます。

方針Ⅰ 養老線を安心して便利に利用できる地域公共交通の基幹軸へアップグレードします

➡目標：養老線の利便性・持続性の向上（鉄道事業再構築事業の確実な実施）

○主な指標：養老線沿線住民の養老線利用割合、交通系ＩＣカード等の利用割合 等

- ・施策Ⅰ-1 運行サービスの改善、高度化
- ・施策Ⅰ-2 安全性、快適性の向上
- ・施策Ⅰ-3 ＤＸの推進による利便性の向上
- ・施策Ⅰ-4 鉄道ネットワークの強化

方針Ⅱ まちづくりと連携した養老線駅周辺の環境整備やにぎわい拠点づくりを推進します

➡目標：養老線駅やその周辺が目的地となるようなまちづくりとの連携

○主な指標：養老線主要 10 駅の平均利用者数、駅周辺のにぎわい創出事業の件数 等

- ・施策Ⅱ-1 駅の機能改善、強化
- ・施策Ⅱ-2 新規利用者の確保に向けた新駅の設置
- ・施策Ⅱ-3 駅周辺におけるにぎわいの創出
- ・施策Ⅱ-4 駅のわかりやすさ、親しみやすさ向上

方針Ⅲ 養老線交通圏における移動の充実を図ります

➡目標：養老線主要駅へのアクセス改善、駅から目的地への移動手段の確保

○主な指標：養老線駅と接続するバス等の利用者数、パーク＆ライド駐車場整備台数 等

- ・施策Ⅲ-1 バス路線等の再編
- ・施策Ⅲ-2 デマンド型交通の充実
- ・施策Ⅲ-3 新しい移動手段の導入
- ・施策Ⅲ-4 交通結節点の機能強化

方針Ⅳ 沿線の観光資源や多様な関係者との協働・共創により、養老線の利用を促進します

➡目標：沿線の観光資源や企業・学校等と連携した養老線利用促進の強化

○主な指標：養老線の定期外利用者数、沿線関係者と連携したイベント・事業の件数 等

- ・施策Ⅳ-1 観光資源等との共創による養老線の活用
- ・施策Ⅳ-2 企業、学校等沿線関係者との連携
- ・施策Ⅳ-3 養老線を支援する団体等との協働
- ・施策Ⅳ-4 若年層のマイレール意識の醸成

■ 各事業の内容

【基本方針Ⅰ】

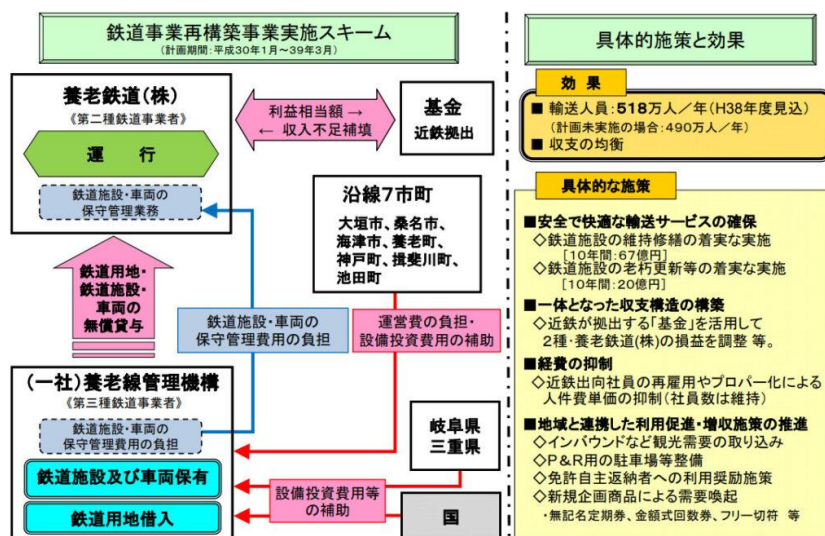
養老線を安心して便利に利用できる地域公共交通の基幹軸へアップグレードします

➡目標：養老線の利便性・持続性の向上（鉄道事業再構築事業の確実な実施）

【鉄道事業再構築事業】

施策Ⅰ-1 運行サービスの改善、高度化																												
実施予定事業	① ダイヤの改善 ・【養老線・揖斐線】利用実態を踏まえた増便 ・【養老線・揖斐線】パターンダイヤ化 等 ② 速達性の向上 ・【揖斐線】同時入線対策 ③ 通勤通学時間帯増便																											
	実施主体 沿線自治体、（一社）養老線管理機構、養老鉄道(株)																											
	<実施スケジュール> <table border="1"> <tr> <th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th><th>2031</th><th>2032</th><th>2033</th><th>2034</th><th>2035</th><th>2036</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 実施									2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036									
2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036																			

▼ 鉄道事業再構築実施計画の概要（前回）



▼ 増便の例（運転間隔の目安）

時間帯	養老線	揖斐線
朝	30分	20分
昼	40分	40分 ▶ 30分
夕	40分 ▶ 30分	20分

▼ パターンダイヤ化の例

大垣方面			大垣方面		
9	12	35	9	10	50
10	17		10	30	
11	7	52	11	10	50
12	42		12	30	
13	32		13	10	50

施策Ⅰ-2 安全性、快適性の向上										
実施予定事業	①新型車両による車両更新									
	・車齢約 60 年のため老朽化の著しい、6 編成 15 両の車両を更新									
	②鉄道施設の強靱化									
	・線路、電路、車両、変電設備等の修繕、設備投資									
	・マクラギの PC 化、木柱のコンクリート化 等									
実施主体	沿線自治体、（一社）養老線管理機構、養老鉄道㈱									
＜実施スケジュール＞										
2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	
実施										

■新型車両の特徴と導入効果

(1) 車両の特徴

- ①車 体 ステンレス製により錆に強く、車体強度と耐久性を向上
- ②制御方式 抵抗制御から最新のインバータ制御に変更
- ③軽 量 化 車体軽量化により消費電力を削減
- ④デザイン 沿線 7 市町の特徴を取り込んだ統一的なデザインを検討

(2) 主な導入効果

- ① 安全性・安定性の大幅向上
- ② 利用者の利便性・快適性向上
- ③ 環境負荷の軽減
- ④ 地域活性化への貢献

▼養老鉄道が現在使用している旧近鉄車両の 620 系



資料：大垣地域ポータルサイト西美濃
(https://www.nisimino.com/yorosenportal/annex/117_Field08.pdf)

施策Ⅰ-3 DXの推進による利便性の向上

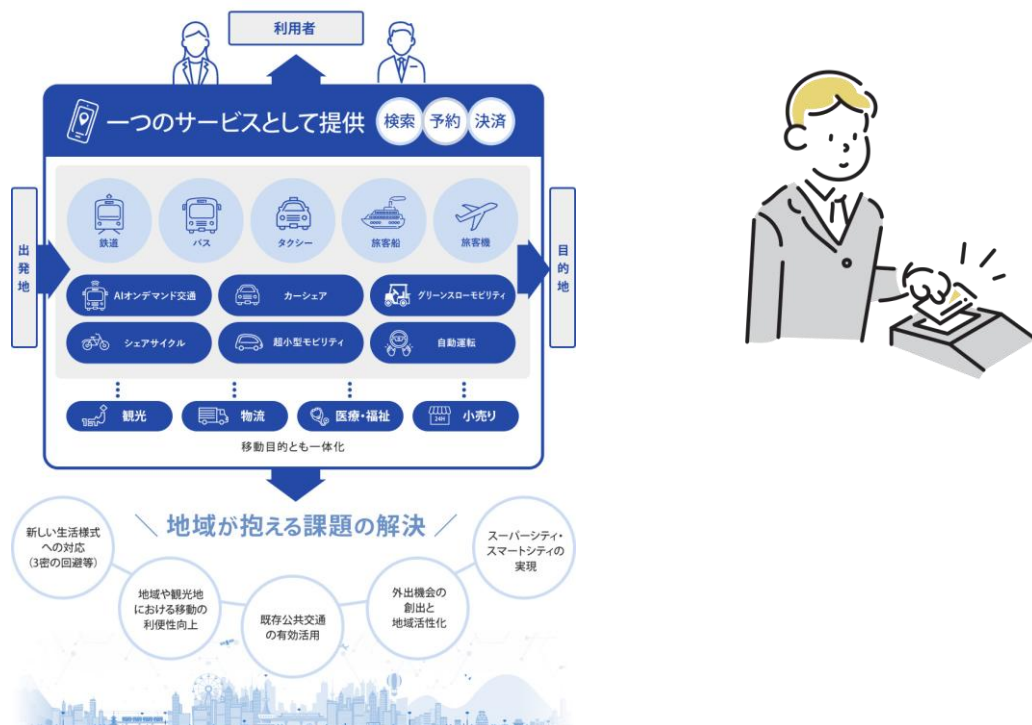
実施予定事業	①交通系ICカード等導入 ②MaaS（キャッシュレス、交通サービスの一連予約）の導入の検討 等
実施主体	沿線自治体、（一社）養老線管理機構、養老鉄道㈱

<実施スケジュール>

2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

実施

▼ MaaS の概要



資料：国土交通省

(<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/japanmaas/promotion/>)

施策Ⅰ-4 鉄道ネットワークの強化

実施予定事業	①他路線（JR東海：東海道本線、関西本線、近鉄：名古屋線、樽見線、北勢線）との乗継・接続利便性の向上 等 ・他路線とのダイヤ調整
実施主体	養老鉄道㈱、接続する鉄道会社 等

<実施スケジュール>

2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

実施

【基本方針Ⅱ】

まちづくりと連携した養老線駅周辺の環境整備やにぎわい拠点づくりを推進します

➡目標：養老線駅やその周辺が目的地となるようなまちづくりとの連携

【鉄道事業再構築事業】

施策Ⅱ-1 駅の機能改善、強化										
実施予定 事業	①駅舎及び施設改善（トイレ設置 等）									
	②情報提供の充実（多言語に対応 等）									
	・ 養老線沿線総合マップを全駅に設置									
	・ デジタルサイネージの導入									
	③バリアフリー化の推進									
実施主体	沿線自治体、（一社）養老線管理機構									
＜実施スケジュール＞										
2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	
実施										

▼ 大外羽駅の現状



▼ 北神戸駅の現状



▼ 揖斐駅駐輪場の現状



施策Ⅱ-2 新規利用者の確保に向けた新駅の設置

実施予定 ①新規利用者の確保が見込まれるエリア（１～２箇所）における新駅の設置
事業 ・新駅周辺におけるまちづくり計画の推進

実施主体 沿線自治体、（一社）養老線管理機構

<実施スケジュール>

2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
調整		実施							

▼（事例）ＪＲ札沼線新駅「ロイズファクトリー駅」設置構想図（令和４年３月開業）

TOBETSU



資料：当別町説明会資料 (<https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/uploaded/attachment/17534.pdf>)

施策Ⅱ-3 駅周辺におけるにぎわいの創出

- 実施予定事業
- ①駅周辺の施設整備（カフェ・コンビニ・自習室等の誘致）
 - ②主要駅周辺でのイベント開催
 - ・大垣駅前広場でのイベント開催
 - ・養老線を支援する団体と協働してイベント開催
 - ・ごうど町賑わいのあるまちづくり協議会と協働してイベント開催
 - ・地域住民、団体等によるマルシェ開催
 - ③駅周辺施設の運営
 - ・広神戸駅前にある「ごうど観光交流館ひよしの里」
 - ・池野駅前にある「霞溪舎」
 - ・揖斐駅前にある「ワンストはぎなが」
 - ④駅周辺での定住促進策等の実施
 - ・桑名駅周辺地区整備構想
 - ・移住定住奨励金の駅近加算の創設

実施主体 沿線自治体、各種事業者、各種団体 等

<実施スケジュール>

2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
実施									

▼ 主要駅周辺でのイベント開催
（大垣駅前でのイベント）



▼ 養老線を支援する団体とのイベント開催
（池野駅でのイベント）



▼ 駅周辺施設の運営（ごうど観光交流館ひよしの里）



▼ 駅周辺施設の運営（ワンストはぎなが）



施策Ⅱ-4 駅のわかりやすさ、親しみやすさ向上										
実施予定事業	①各駅へ副駅名を設定（駅周辺の施設表示）									
	②トータルデザインを意識した駅表記（駅名表示・案内表示 等）									
実施主体	沿線自治体、養老鉄道㈱、沿線住民、学校関係者、各種団体 等									
<実施スケジュール>										
2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	
実施										

▼ 副駅名イメージ（養老線）



おおとば

大 外 羽

（大垣南高校）

Ōtoba

（岐阜県大垣市）

Y04
ともえ
Tomoe

Y06
からすえ
Karasue

▼ 副駅名イメージ（揖斐線）



ひがしあかさか

東 赤 坂

（書家日比野五鳳 生家跡）

Higashi-Akasaka

（岐阜県神戸町）

I05
ひろごうど
Hiro-Gōdo

I03
きたおおがき
Kita-Ōgaki

【基本方針Ⅲ】

養老線交通圏における移動の充実を図ります

➡目標：養老線主要駅へのアクセス改善、駅から目的地への移動手段の確保

施策Ⅲ-1 バス路線等の再編										
実施予定 事業	①バスルートの見直し等									
	・ 自主運行バス路線の見直し									
	・ 駒野駅を起終点とするコミュニティバスの増便の検討									
	・ バス運行形態等の見直し									
	②公共交通の担い手確保									
	・ 運転手（担い手）不足への対応									
	③企業や学校と連携したバス運行									
実施主体	沿線自治体、交通事業者 等									
<実施スケジュール>										
2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	
実施										

▼ 海津市コミュニティバス



▼ 学校と連携したコミュニティバスのダイヤ設定（海津市）

【平日】									
石津線・駒野線					海津市役所・駒野駅方面				
石津線	1便	3便	5便	7便	10便	12便	13便	16便	17便
駒野線	1便	3便	5便	7便	10便	12便	13便	16便	17便
	D	D	E	B	E	A	C	E	C
松山グリーンハイツ	7:12		8:37		12:10				
南津南部グラウンド	7:14		8:39		12:12				
田鶴	7:16		8:41		12:14				
松山駅東	7:18		8:43		12:16				
松山台	7:19		8:44		12:17				
石津小学校口	7:21		8:46		12:19				18:54
石津南	7:22		8:47	10:33	12:20	14:15	15:49	17:02	17:17
養老鉄道 大畑行き	7:07		8:35	10:27	11:47	13:47	15:47	16:27	17:07
石津駅 最名行き	7:00		8:28	9:53	11:54	13:54	15:14	16:34	17:14
石津駅	7:23		8:48	10:34	12:21	14:16	15:50	17:03	17:18
海津西	7:24		8:49	10:35	12:22	14:17	15:51	17:04	17:19
安田	7:26		8:51	10:37	12:24	14:19	15:53	17:06	17:21
沼	7:27		8:52	10:38	12:25	14:20	15:54	17:07	17:22
沼新田	7:28		8:53	10:39	12:26	14:21	15:55	17:08	17:23
海津温泉	7:30		8:55	10:41	12:28	14:23	15:57	17:10	17:25
医師会病院	7:33		8:58	10:44	12:31	14:26	15:31	16:00	17:13
石津橋	7:36		9:01	10:47	12:34	14:29	15:34	16:03	17:16
沼沢	7:37		9:02	10:48	12:35	14:30	15:35	16:04	17:17
五町	7:38		9:03	10:49	12:36	14:31	15:36	16:05	17:18
内記五町	7:39		9:04	10:50	12:37	14:32	15:37	16:06	17:19
木里三川中ミュージアム	7:41		9:06	10:52	12:39	14:34	15:39	16:08	17:21
海津市役所 最	7:44		9:09	10:55	12:42	14:37	15:42	16:11	17:24
のりつぎ		お3便 お4便			お14便		お17便		
海津市役所 発	7:44	8:08			14:22	15:42	16:11	17:24	17:39
海津明誠高校口	7:47	8:11			14:25	15:45	16:14	17:27	17:42
駒野駅	7:53	8:17			14:31	15:51	16:20	17:33	17:48
養老鉄道 大畑行き	8:20	8:20			14:36	15:56	16:36	17:57	17:57
駒野駅発 最名行き	8:20	8:20			15:03	16:23	16:23	17:46	18:25

施策Ⅲ-2 デマンド型交通の充実										
実施予定事業	①鉄道とデマンド型交通の連携強化 ・デマンド型交通による養老線駅へのアクセス検討									
	②既存デマンド型交通のエリアの拡充、サービス改善等（広域化等） ・バス運行形態等の見直し ・広域的デマンド交通の検討									
実施主体	沿線自治体、交通事業者 等									
＜実施スケジュール＞										
2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	
実施										

▼ 養老町オンデマンドバス



施策Ⅲ-3 新しい移動手段の導入										
実施予定 事業	①シェアサイクル・レンタサイクルの設置 ・各駅にシェアサイクル、新モビリティ等のステーション設置検討 ・桑名駅にシェアサイクルの設置検討 ・レンタサイクルの設置 ②次世代車両の導入 ・E Vバスの導入促進 ・自動運転バスの導入検討									
	実施主体 沿線自治体、交通事業者、新モビリティ事業者 等									
<実施スケジュール>										
2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	
実施										

▼ レンタサイクル(揖斐駅等)



▼ シェアサイクル(西大垣駅)



資料：養老鉄道株式会社
(<https://www.yororailway.co.jp/enjoy/bicycle/rental/>)

▼ EV バスの導入促進(名阪近鉄バス・大垣市)



資料：大垣市地域公共交通計画
(<https://www.city.ogaki.lg.jp/0000067167.html>)

施策Ⅲ-4 交通結節点の機能強化									
実施予定 事業	①バス等乗換機能の強化・パークアンドライド用駐車場等の整備 ・大垣駅南口のバス、タクシー等の乗降場所の再整備検討 ・大垣 IC や大垣西 IC 等、道路結節点との連携 ・駅周辺のパークアンドライドやサイクルアンドライドの充実 ・駒野駅にタクシー待機所の設置 ②案内用デジタルサイネージの導入 ・交通結節点にデジタルサイネージの導入 ③主要駅周辺整備の推進								
	実施主体 沿線自治体、交通事業者 等								
	<実施スケジュール> 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 								

▼ 駅周辺のパークアンドライド(美濃高田駅)



▼ タクシー待機所の設置(駒野駅)



▼ デジタルサイネージ(大垣駅)



【基本方針Ⅳ】

沿線の観光資源や多様な関係者との協働・共創により、養老線の利用を促進します

➡目標：沿線の観光資源や企業・学校等と連携した養老線利用促進の強化

施策Ⅳ-1 観光資源等との共創による養老線の活用									
実施予定 事業	①観光資源（自然・歴史・食・アニメ等とコラボ）を活用した周遊イベントの実施 ・酒蔵巡り ・観光案内所の運営 ・いびがわマラソン ・各イベントでの公共交通利用促進 ②企画列車の運行・記念切符の販売 ・月見の森エリア内にあるドックラン施設を利用したわんこ列車 ・イベント（まるごと肉まつり養老 等）開催時の記念切符の販売 ③新たな観光ニーズの掘り起こし（インバウンド対応 等）								
	実施主体 沿線自治体、養老鉄道㈱、観光協会、商工会等								
	<実施スケジュール> 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 実施								

▼ まるごと肉まつり養老 養老鉄道往復割引きっぷ（クーポン付）



▼ 酒蔵巡り(大垣市)



▼ ドックラン施設(海津市)



施策Ⅳ-2 企業、学校等沿線関係者との連携										
実施予定事業	①通勤通学利用の促進									
	・企業や学校と連携したバス運行									
	・スマート通勤の推進									
	②高等学校の授業との連携									
	・高校の探究授業の題材として活用									
	③イベント・企画列車運行等の実施									
実施主体	養老鉄道㈱、沿線自治体・企業・高等学校 等									
＜実施スケジュール＞										
2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	
実施										

▼ スマート通勤に関する公共交通利用促進チラシ（大垣市）

通勤・通学に 時間に正確で安心!

毎日移動をもっと安心、もっと便利に。

買い物・通院に 身近で便利な移動手段!

どんな時でも ドアツードアで快適!

くらしに寄り添う公共交通

公共交通を使うメリットとは？

- 賢い選択
スマート通勤
- 交通事故
リスクの軽減
- 渋滞緩和・
CO₂削減
- 地域の交通を
未来へつなぐ

あなたの利用が、まちの交通を守ります

施策Ⅳ-3 養老線を支援する団体等との協働

①駅や駅周辺の美化活動の実施

- ・駅周辺の自治会等との協働による駅周辺美化推進
- ・ごうど養老鉄道を守り育てる会による駅周辺の美化活動
- ・養老鉄道応援団等の関係者による駅周辺の美化活動

実施予定 事業 ②鉄道活用事業に対する補助金の交付

- ・養老鉄道を活用した事業を実施する団体への補助金交付

③鉄道施設を活用したイベントの実施

- ・“養老鉄道百景” ポスター・絵画・写真展の開催
- ・養老鉄道電車庫ツアー

④駅サポーター制度の活用、観光案内所・駅前商店街と協働 等

実施主体 沿線自治体、養老鉄道㈱、支援団体、地域住民 等

<実施スケジュール>

2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
実施									

▼ 養老鉄道を守る会による植栽（海津市）



▼ 池野駅のイルミネーション



▼ 養老鉄道百景チラシ（養老町）



施策Ⅳ-4 若年層のマイレール意識の醸成

- ①親子イベントの実施
- ・親子鉄道チケット等事業検討
 - ・親子向け参加イベントを通じた「乗り方教室」等
 - ・養老鉄道電車庫ツアー
- ②通学利用に対する補助の実施
- ・通学定期補助の検討
 - ・沿線高校の定期券利用促進
- 実施予定事業 ③利用方法の周知
- ・「のりものフェア」や「出前講座」を活用し、意識醸成
 - ・全年齢に向けた「乗り方講座」等の開催
- ④若者参加型イベントの実施
- ・“養老鉄道百景”ポスター・絵画・写真展の開催
 - ・「霞溪舎」でのマルシェ開催
 - ・高校生等によるワークショップ
- ⑤養老鉄道応援団と協働

実施主体 沿線自治体、養老鉄道㈱、沿線学校、養老鉄道応援団 等

<実施スケジュール>

2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

実施

▼ 養老線地域公共交通再生協議会共創事業部会 高校生等によるワークショップ



7 計画の評価・推進体制に関する事項

(1) 計画の評価・推進体制

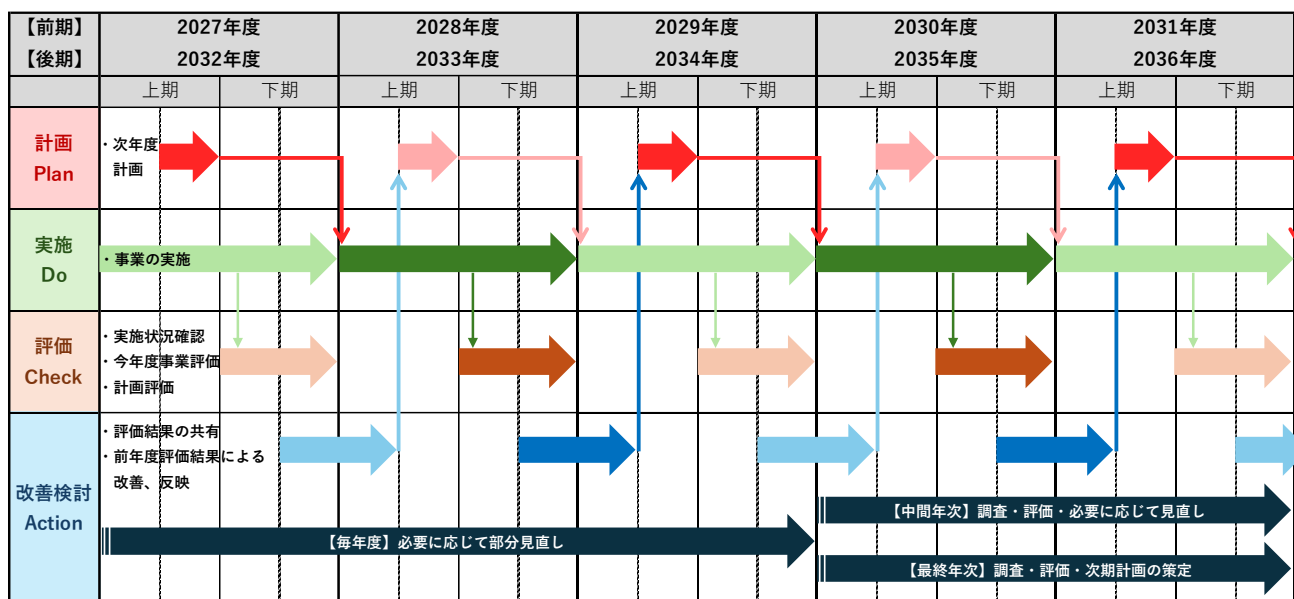
本計画で位置づけた施策・事業は、PDCAサイクル（計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善検討（Action））を毎年度繰り返し実施し、より良い公共交通の実現につなげます。

実施した事業については、事業概要や実施効果を養老線地域公共交通再生協議会で報告し、計画目標の達成状況等について協議することで、改善につなげます。

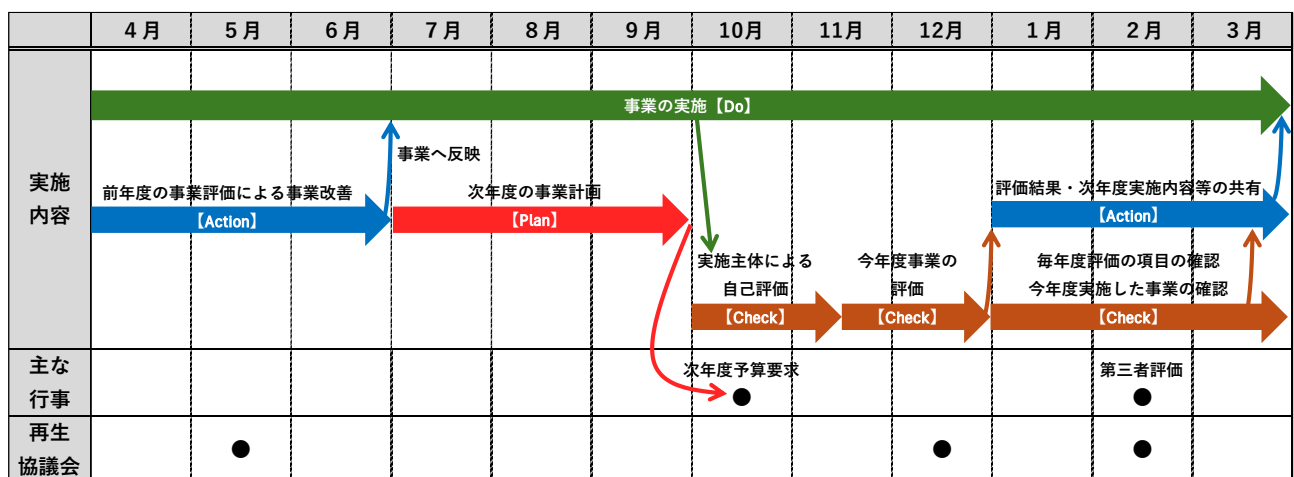
計画は必要に応じて適宜見直すことができるものとするとともに、中間年次には計画の中間評価のための調査等を実施し、変化する社会情勢や沿線環境、公共交通の利用状況等を考慮し、養老線地域公共交通再生協議会や共創事業推進部会、交通事業者部会等における議論・検討によって、実効的・効果的な計画へアップデートします。

また、最終年次では計画期間中に実施した各種施策の効果検証等のための調査等を実施し、養老線地域公共交通再生協議会や共創事業推進部会、交通事業者部会等において分析・評価を行い、次期計画を策定するものとします。

▼ 計画期間全体の評価・進捗管理のスケジュール（PDCAサイクル）



▼ 単年度の評価・進捗管理のスケジュール（PDCAサイクル）



(2) 計画の達成度評価の指標

本計画の達成状況を評価するための評価指標とその数値目標について定めます。

① 計画全体の目標指標・目標値

目標指標	策定時現況値 (2024 年度)	目標値 (2036 年度)	評価する 周期	データの 収集方法
【計画全体（将来像）】人をむすび、まちをつなぎ、地域の未来を創る 養老線を軸とした 地域公共交通ネットワークの再構築				
養老線の 利用者数	5,830 千人/年	5,900 千人/年	毎年度	養老鉄道㈱の 運行実績による
養老線の 収支率 ※ ※(営業収入+特別利益)/営業費用	100%	102% (特別損失を除く)	毎年度	養老鉄道㈱の 経営実績による

② 方針ごとの目標指標・目標値

目標指標	策定時現況値 (2024 年度)	目標値 (2036 年度)	評価する 周期	データの 収集方法
【方針Ⅰ】養老線を安心して便利に利用できる地域公共交通の基幹軸へアップグレードします				
養老線沿線住民の 養老線利用割合	56%	60%	中間評価時 最終評価時	住民アンケート 調査による
交通系 IC カード等の 利用割合(策定時未導入)		75%	毎年度	養老鉄道㈱の 運行実績による
【方針Ⅱ】まちづくりと連携した養老線駅周辺の環境整備やにぎわい拠点づくりを推進します				
養老線主要 10 駅の 利用者数	19,157 人/日	20,000 人/日	毎年度	養老鉄道列車別 乗降調査による
駅周辺のにぎわい 創出事業の実施件数		7 件/年	毎年度	各市町の 事業実績による
【方針Ⅲ】養老線交通圏における移動の充実を図ります				
養老線駅と接続する バス等の利用者数	7,408 千人/年	7,500 千人/年	毎年度	各事業者の 運行実績による
パーク＆ライド駐車場の 整備台数	656 台	750 台	毎年度	各市町の 事業実績による
【方針Ⅳ】沿線の観光資源や多様な関係者との協働・共創により、養老線の利用を促進します				
養老線の定期外利用者数	1,300 千人/年	1,500 千人/年	毎年度	養老鉄道㈱の 運行実績による
沿線関係者と連携した イベント・事業の件数	7 件/年	14 件/年	毎年度	各市町の 事業実績による

■目標値の算出根拠

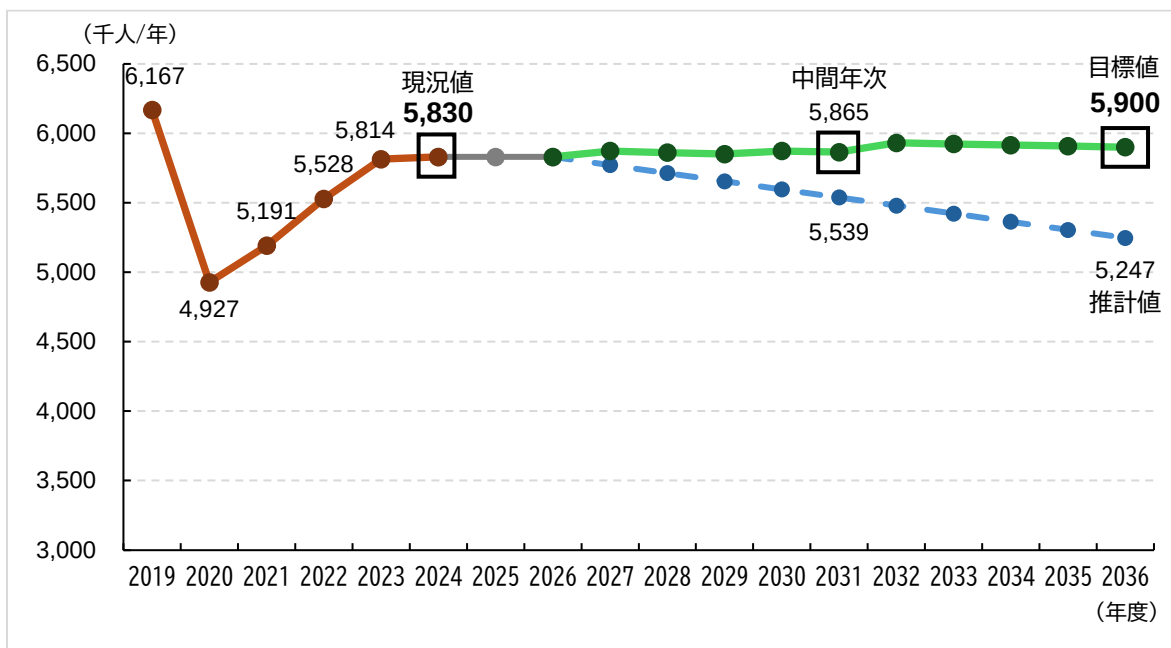
① 計画全体の目標指標・目標値

➤ 養老線の利用者数 5,830 千人（2024 年度）➡ 5,900 千人（2036 年度）

p.3 における人口推計により、2035 年時点での養老線沿線 7 市町の人口は約 10%の減少が見込まれており、養老鉄道の利用者も同じ割合で減少した場合には 5,247 千人/年となります。

しかし、6 章で設定した通勤利用の促進やイベントの開催等、各種施策・事業によって養老線の利用が促進されることで、現状値から増加した状態（5,900 千人/年）を目標値とします。

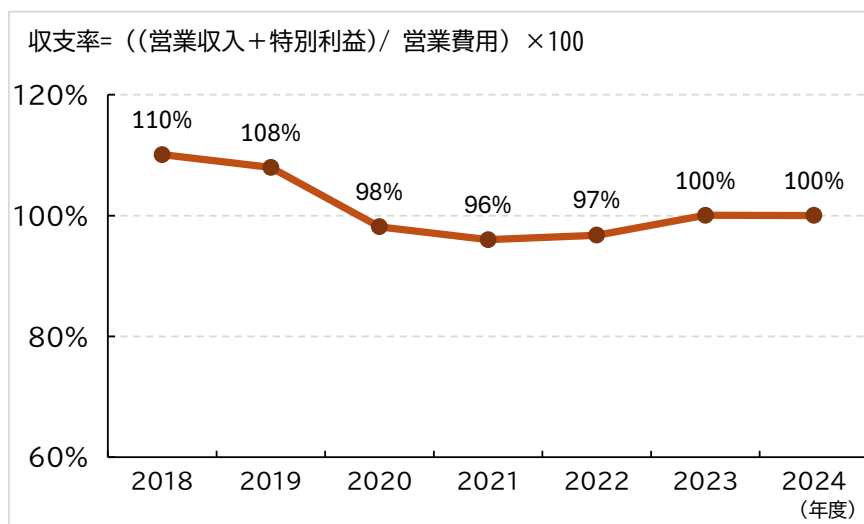
▼ 養老線全体の利用者数の推計値と目標値



➤ 養老線の収支率 100%（2024 年度）➡ 102%（2036 年度）（特別損失を除く）

2024 年現在では、養老線の収支率は 100%となっており、養老線交通圏の公共交通軸として今後も持続的な運行を確保するため、さらなる経営の安定化に向け、特別損失計上前の状態における収支率を 102%へ良化させることを目標とします。

▼ 養老線収支率の推移



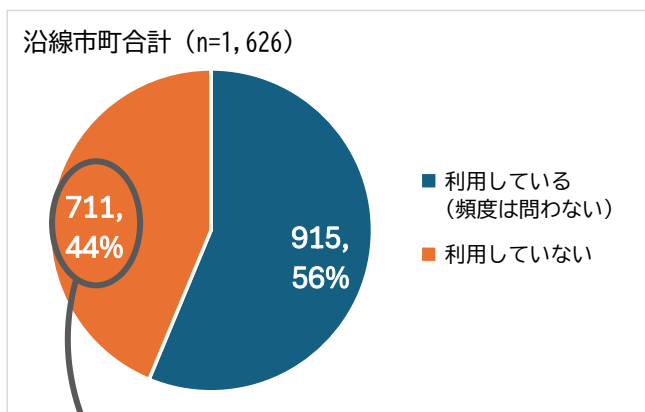
② 方針ごとの目標指標・目標値

➤ 養老線沿線住民の養老線利用割合 56% (2024 年度) ➡ 60% (2036 年度)

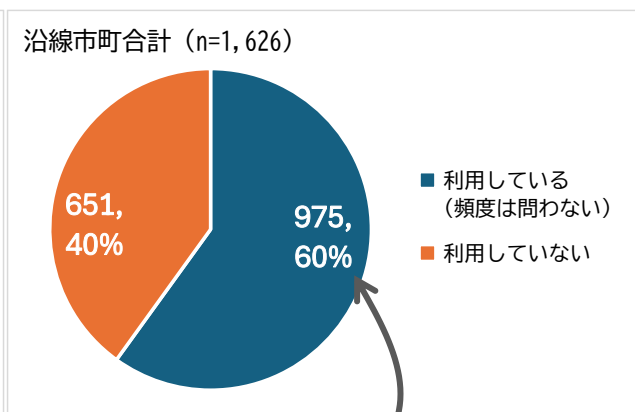
2024 年に実施した沿線住民アンケート調査結果より、養老線沿線住民の養老線利用割合は 56% となっています。

「利用していない」と回答した人（711 票(44%)）で、養老線のサービスが改善された場合に養老線の利用頻度が増加すると回答した人（238 票）のうち、4 人に 1 人（約 60 票）が実際に利用するようになることを目標として、養老線沿線住民の養老線利用割合の目標値を 60%とします。

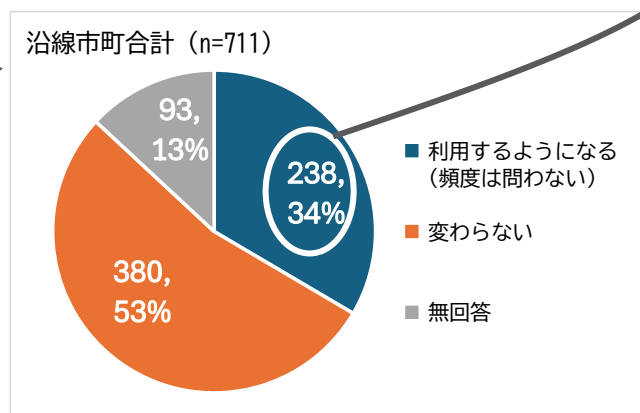
▼ 沿線市町住民の養老線利用割合【現状】



▼ 沿線市町住民の養老線利用割合【目標】



▼ 「利用していない」人の今後の利用意向



4 人に 1 人が
利用するようになる

資料：2024 年度養老線沿線住民アンケート調査

➤ 交通系 IC カード等の利用割合 0% (2024 年度) ➡ 75% (2036 年度)

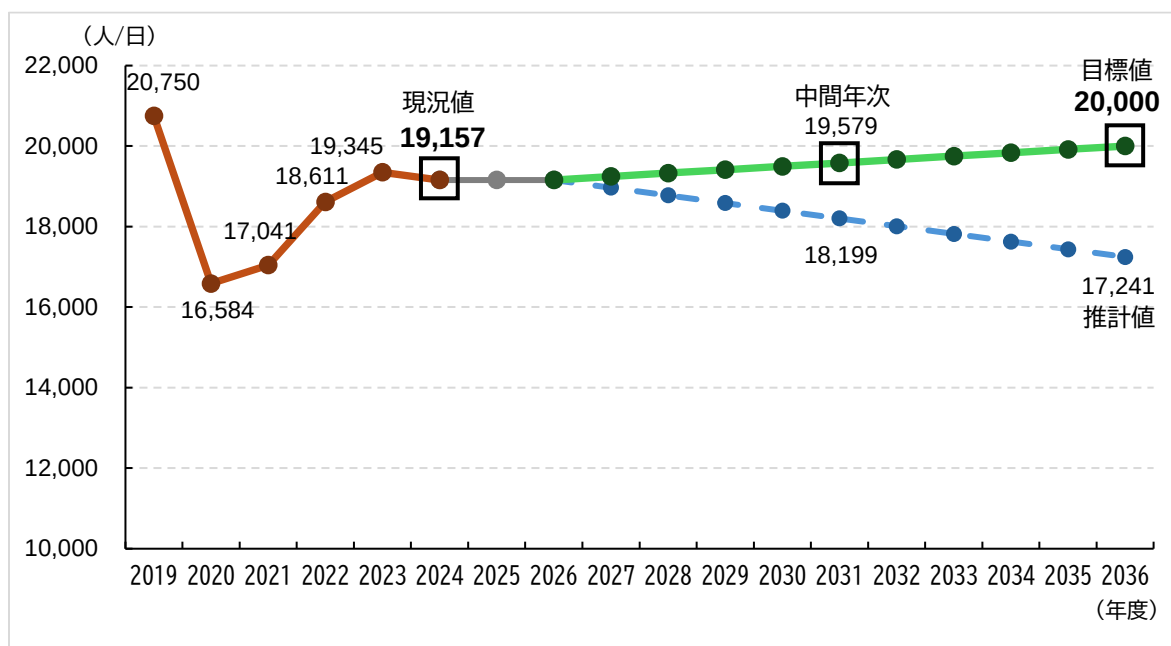
計画期間中に導入する交通系 IC カードの利用割合は、他路線における同種事例を踏まえ、75% を目標とします。

➤ 養老線主要 10 駅の利用者数 19,157 人/日 (2024 年度) ➡ 20,000 人/日 (2036 年度)

p. 3 における人口推計により、2035 年時点での養老線沿線 7 市町の人口は約 10% の減少が見込まれており、養老鉄道の利用者も同じ割合で減少した場合には 17,241 人/日 となります。

しかし、人口減少が継続する中であっても、各市町における養老線の駅を中心としたまちづくり・公共交通ネットワークづくりの進行や 6 章で設定したイベントの開催等によって、現状値から緩やかに増加した状態 (20,000 人/日) を目標値とします。

▼ 養老線主要 10 駅の利用者数の推計値と目標値



➤ 駅周辺のにぎわい創出事業の実施件数 0 件/年 (2024 年度) ➡ 7 件/年 (2036 年度)

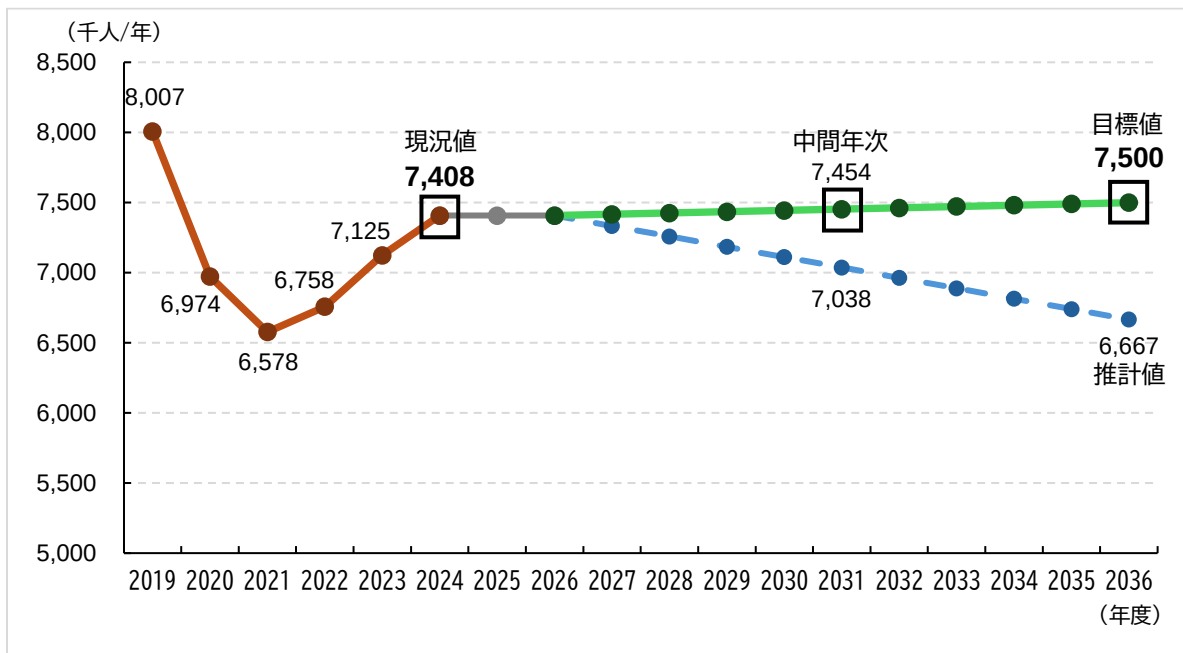
策定時現在では実施されていない駅周辺のにぎわい創出事業について、沿線 7 市町で各年間 1 件以上の実施を目指し、目標値を 7 件/年とします。

➤ 養老線駅と接続するバス等の利用者数 7,408 千人/年（2024 年度）➡ 7,500 千人/年（2036 年度）

p.3 における人口推計により、2035 年時点での養老線沿線 7 市町の人口は約 10%の減少が見込まれており、養老線駅と接続するバス等の利用者も同じ割合で減少した場合には 6,667 千人/年 となります。

しかし、人口減少が継続する中であっても、各市町における養老線の駅を中心としたまちづくり・公共交通ネットワークづくりの進行や 6 章で設定した各種イベント等の開催によって、現状値を概ね維持した状態（7,500 千人/年）を目標値とします。

▼ 養老線駅に接続するバス等の利用者数の推計値と目標値



➤ パーク＆ライド駐車場の整備台数 656 台（2024 年度）➡ 750 台（2036 年度）

養老線交通圏地域公共交通網形成計画（2017 年度～2026 年度）において、整備済みの養老線駅のパーク＆ライド駐車場は 656 台となりました。

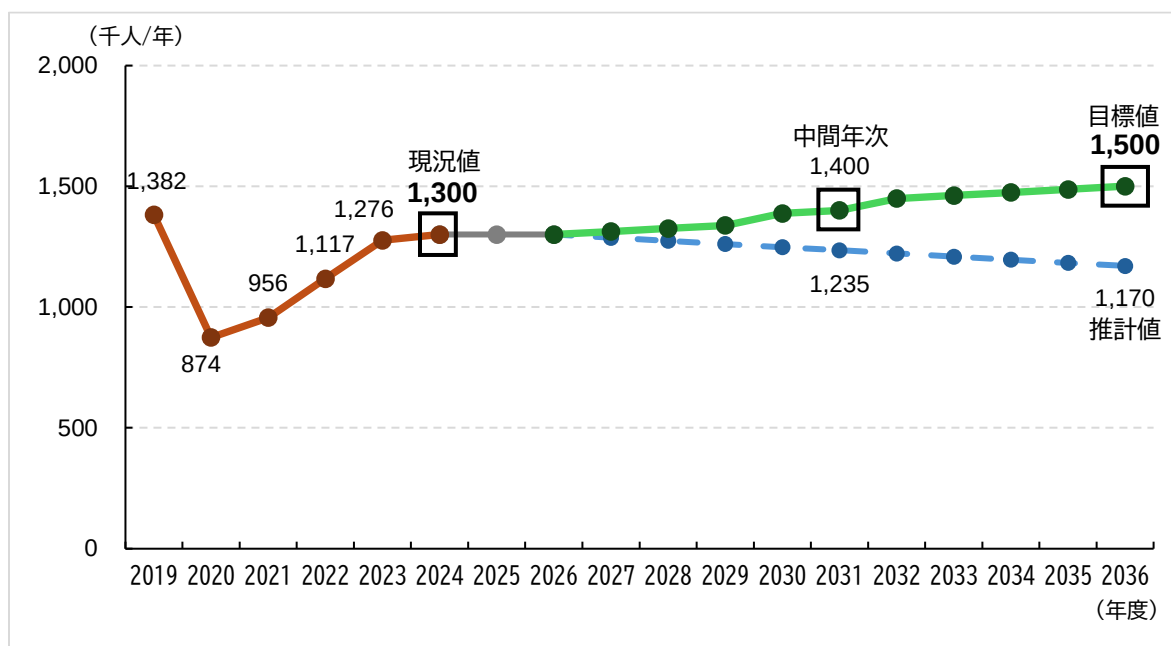
本計画では、これまでに整備したパーク＆ライド駐車場をさらに充実させるため、既存駐車場の拡充や新規駅などへの整備を行い、750 台（約 100 台の増加）とすることを目標とします。

➤ 養老線の定期外利用者数 1,300 千人/年（2024 年度）⇒ 1,500 千人/年（2036 年度）

p.3 における人口推計により、2035 年時点での養老線沿線 7 市町の人口は約 10% の減少が見込まれており、養老線の定期外利用者も同じ割合で減少した場合には 1,170 千人/年 となります。

しかし、運転免許証を持たない外国人の増加や新駅の設置による非日常利用の増加、6 章で設定した各種イベント等の開催によって養老線の利用が促進されることで、現状値から増加した状態（1,500 千人/年）を目標値とします。

▼ 養老線の定期外利用者数の推計値と目標値



➤ 沿線関係者と連携したイベント・事業の件数 7 件/年（2024 年度）⇒ 14 件/年（2036 年度）

策定時現在では年に 7 件実施されている沿線関係者と連携したイベントや事業について、沿線 7 市町で各年間 1 件以上の実施数の増加を目指し、目標値を 14 件/年とします。

養老線地域公共交通再生協議会 委員等名簿（案）について

1 委 員

（令和8年5月現在）

No.	法律区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考
1	地域公共交	大垣市長	石 田 仁	会長
2	通計画を作	桑名市長	伊 藤 徳 宇	副会長
3	成しようと	海津市長	横 川 真 澄	監事
4	する地方公	養老町長	川 地 憲 元	
5	共団体	神戸町長	藤 井 弘 之	
6		揖斐川町長	岡 部 栄 一	
7		池田町長	竹 中 誉	監事
8	公共交通事	養老鉄道(株)代表取締役社長	宗 藤 洋	
9	業者等（地	（一社）養老線管理機構代表理事	豊 田 富士人	
10	域公共交	東海旅客鉄道(株)	井 上 雅 隆	
	通計画に定め	東海鉄道事業本部管理部企画課課長代理		
11	ようとする	樽見鉄道(株)取締役統括部長	今 村 安 孝	
12	事業を実施	三岐鉄道(株)代表取締役社長	渡 邊 一 陽	
13	すると見込	名阪近鉄バス(株)代表取締役社長	谷 口 弘 幸	
14	まれる者）	三重交通(株)代表取締役社長	田 端 英 明	
15		八風バス(株)代表取締役	浦 野 克 雄	
16		スイトトラベル(株)タクシー事業部長	石 田 吉 忠	
17		岐阜県タクシー協会西濃支部長・岐阜近鉄 タクシー(株)代表取締役社長	市 村 隆 憲	
18		三重県タクシー協会北勢支部長代理・(株)三交 タクシー代表取締役社長	内 山 宜 哉	
19	道路管理者	岐阜国道事務所大垣維持出張所長	中 澤 博 士	
20		三重河川国道事務所四日市国道維持出張所長	勝 山 佳 典	
21		岐阜県大垣土木事務所長	辻 克 紀	
22		三重県桑名建設事務所長	長 瀬 功 起	
23	警 察 署	岐阜県警察海津警察署長	滝 上 徳 明	
24		岐阜県警察養老警察署長	牧 原 誠 治	
25		岐阜県警察大垣警察署長	山 下 武 雄	
26		岐阜県警察揖斐警察署長	森 上 隆 則	
27		三重県警察桑名警察署長	門 由 実 也	

No.	法律区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考
28	地域公共交通の利用者	大垣市連合自治会連絡協議会会長	堀 和 英	
29		岐阜県立大垣南高等学校校長	種 田 昭 彦	
30		三重県立桑名北高等学校校長	山 本 エ リ	
31		岐阜県大垣特別支援学校校長	守 屋 朋 伸	
32		かがやきクラブ大垣副会長	國 枝 芳 則	
33		NPO法人くすくす副理事長	安 田 典 子	
34		イビデン株式会社 経営企画本部 副本部長	川 崎 保 典	
35	学識経験者	岐阜協立大学教授	竹 内 治 彦	
36		名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授	松 本 幸 正	
37	その他会長 が必要と認 める者	大垣観光協会会長	浅 野 圭 一	
38		大垣商工会議所会頭	境 敏 幸	
39		西濃ブロック商工協議会会長	高 田 英 雄	
40		桑名商工会議所会頭	山 本 重 雄	
41		アクアウォーク大垣館長	夏 目 康 史	
42		イオンモール(株)イオンモール大垣 ゼネラルマネージャー	中 垣 智 子	
43		(株)大垣ケーブルテレビ代表取締役社長	五十川 智 宣	
44		国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局 首席運輸企画専門官	石 野 栄 一	
45		国土交通省中部運輸局三重運輸支局 首席運輸企画専門官	森 慶 之	
46		岐阜県都市建築部リニア未来都市局局長	戸 田 克 稔	
47		三重県地域連携・交通部副部長兼 交通政策総括監	福 井 崇 司	
48		養老鉄道応援団	高 橋 秀 歩	

2 オブザーバー

49	オブザーバー	国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課長	江 川 晃 平	
50		国土交通省中部運輸局鉄道部計画課長	松 井 茂 久	

今 後 の 日 程 に つ い て

【協議会等の開催】

とき・ところ	内 容
令和8年7月下旬頃 PM (大垣市役所 4階 情報会議室)	令和8年度養老線地域公共交通再生協議会 幹事会 ・養老線交通圏地域公共交通計画案について ほか
令和8年8月中旬頃 PM (クインテッサホテル大垣)	令和8年度養老線地域公共交通再生協議会 本体会議 ・養老線交通圏地域公共交通計画案について ほか

※上記以外にも、必要に応じて養老線地域公共交通再生協議会（本体会議・幹事会・部会）を開催する。